

Allxon User Manual

Linux / Windows 対応

v.3.9

© 2022 Allxon. All rights reserved.

目次

Message from Alex, Our CEO	2
1. Allxon DMS について.....	3
2. 作業を始める前に.....	4
2.1 ユーザーアカウントの作成	4
3. サインイン.....	7
4. エッジデバイスの追加.....	7
4.1 デバイスへの Allxon DMS エージェントのインストール.....	7
4.2 Allxon DMS ポータルへのデバイスの追加.....	14
4.3 デバイスのアウトオブバンド管理の有効化.....	17
5. Allxon DMS ポータル上のデバイス.....	22
6. Allxon DMS ポータル.....	22
6.1 マイアカウント.....	23
6.2 ダッシュボード.....	25
6.3 グループ.....	29
6.4 デバイス.....	32
6.5 アプリケーション.....	38
6.6 ポリシー.....	48
6.7 アラート.....	54
6.8 ユーザー.....	63
終わりに.....	67
付録 A : プロモーションコードの利用.....	68
付録 B : Allxon DMS エージェントのアンインストール	69

Message from Alex, Our CEO

*Allxon
builds an
efficient and
open device
management
platform
to empower
business
solutions.*

“ Welcome to Allxon!

We have come a long way to create a remote device management system that eases you into a world that is rapidly moving towards AI / IoT industries. With the conveniences and elevated lifestyle AI at the Edge brings, it also comes with complex operation and systematic errors. As an innovative and customer-focused company, we keep ahead of market trends by introducing simple and intuitive device management solutions as we transition into a world that will only become more intricately interwoven by Smart operating systems.


Built on the foundation of simplifying remote device management, I hope you enjoy the differences smart operations management can make in helping your business operations become more efficient and more affordable.

In a competitive RMM market, I am grateful to have some of the smartest thinkers on the team. We are excited to learn about the daily technological transformations and impacts on our volatile world, and we eagerly take on new problems to turn them into your solutions.

I truly hope your partnership with Allxon DMS takes you beyond your vision, as we value this opportunity to work together towards your success.



get in touch

 services@allxon.com

 www.allxon.com

 [@AllxonInc](https://www.facebook.com/AllxonInc)

 [Allxon Inc.](https://www.linkedin.com/company/allxon-inc)

Sincerely,

CEO

1. Allxon DMS について

ようこそ！本書を開いた読者は、スマートな運用管理が企業の時間と費用の節約にどう貢献するのか興味をお持ちのことでしょう。Allxon Device Management Solutions (Allxon DMS) はすぐに使え、簡単に統合できる SaaS ソリューションであり、シンプルで効果的なリモートデバイス管理サービスを提供します。

Allxon DMS の特徴は、操作しやすい単一のクラウドポータルであり、ビジネスを最適なレベルで継続するために必要な基本ツールがすべて揃っています。ボタンのクリック 1 つで、OTA (ワイヤレス) アップデート、アウトオブバンド (OOB) 電源管理、基本的な障害復旧サービスなどの機能により、強力な対策を講じることができます。また、包括的なダッシュボードにより、すべてのデバイスの監視や管理をリアルタイムに行いながら、ユーザーに最高のサービスを提供できます。

このユーザーマニュアルの目的は、Allxon DMS の導入と運用を支援することです。インバンドデバイスを追加し、ペアリングする方法と、Allxon swiftDR OOB Enabler を組み込んだデバイスを Allxon DMS ポータルとリンクする方法について順を追って説明します。



2. 作業を始める前に

作業を始める前に、次の準備が必要です。

- 仕事用メールアドレス
- エッジデバイス
- インターネット接続



*オプション：
Allxon swiftDR OOB Enabler

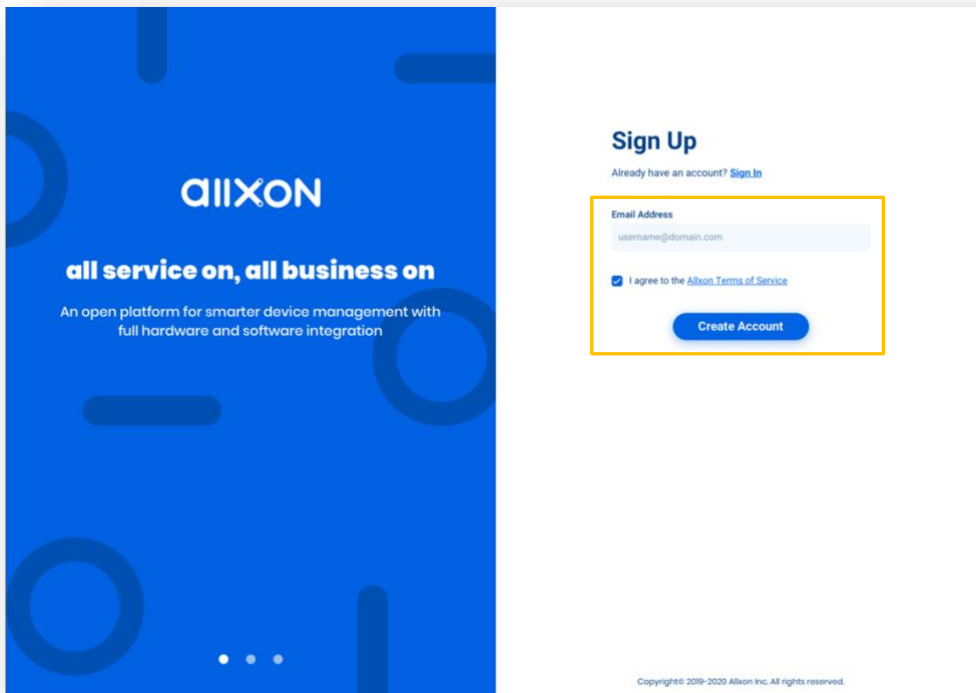


2.1 ユーザーアカウントの作成

2.1.1 サインアップ


以下の手順に従って、Allxon DMS アカウントにサインアップしてください。

- 1 [Allxon DMS のサインアップページ](#)を開きます。
- 2 「仕事用メールアドレス」を入力し、「次へ」をクリックします。



- ③ 指定したアドレスにアクティベーションメールが届きます。

アクティベーションメールの件名は「**Join Allxon DMS**」で、差出人は「no-reply@allxon.net」です。受信トレイにアクティベーションメールが届いていることを確認し、アカウントの設定に進んでください。

 注意

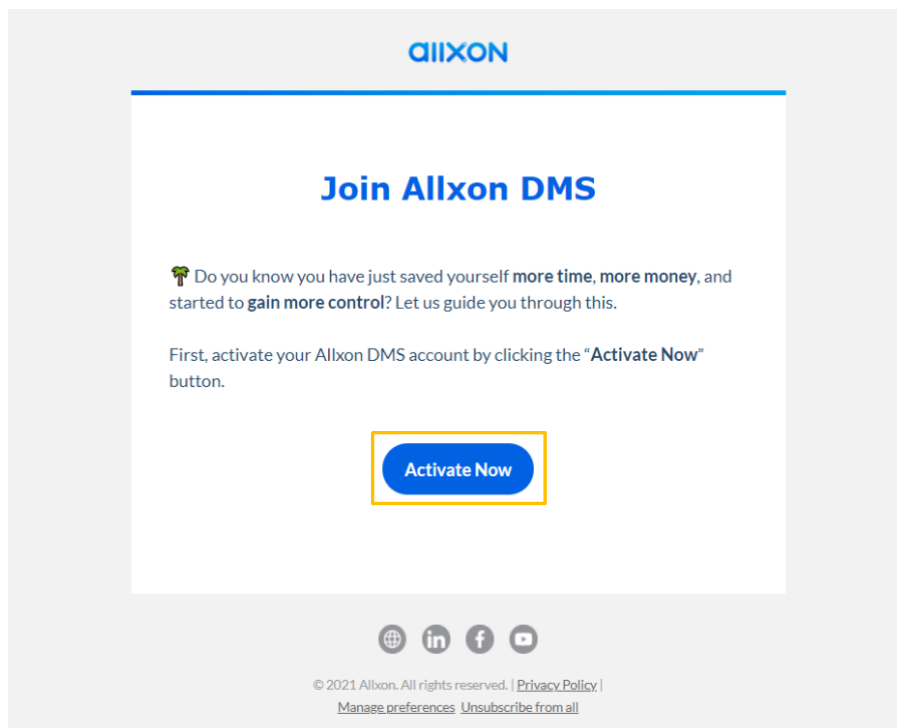
アクティベーションメールが届かない場合は、次のことをお試しください。

- メールが届くまで **15分程度** 待つ。
- no-reply@allxon.net からのメールが**迷惑メールフォルダ**に振り分けられていないか確認する。
- メール連絡先や許可された送信者リストに no-reply@allxon.net を追加する。
- 同じメールアドレスでもう一度**サインアップ**してみる。アカウントが存在する場合は、メールアドレスが使用済みであることを示すエラーが表示されます。

[Allxon DMS のサインインページ](#)で「**パスワードを忘れました?**」をクリックし、指示に従ってアカウントをアクティベートしてください。

2.1.2 アクティベート

アクティベーションメールを受信したら、「**Activate Now**」をクリックしてアクティベーションプロセスに進みます。



2.1.3 パスワード設定

② パスワードを設定します。文字数は 8 文字以上で、大文字、小文字、数字をそれぞれ 1 文字以上含める必要があります。

Set Password

New Password



Confirm New Password



Password must contain at least 8 characters, including 1 uppercase letter, 1 lowercase letter and 1 number.

Submit

以上で、ユーザーアカウントの設定は完了です。これで、新規作成したアカウントとパスワードを使って、Allxon DMS ポータル (<https://dms.allxon.com/>) にサインインできるようになりました。さあ、スマートな運用管理を始めましょう！

3. サインイン

以上で、ユーザーアカウントの設定は完了です。これで、新規作成したアカウントとパスワードを使って、Allxon DMS ポータル (<https://dms.allxon.com/>) にサインインできるようになりました。さあ、スマートな運用管理を始めましょう！

4. エッジデバイスの追加

4.1 デバイスへの Allxon DMS エージェントのインストール

エッジデバイスをペアリングするには、まず Allxon DMS エージェントをインストールし、デバイスのペアリングコードを取得する必要があります。以下の手順に従って、Allxon DMS エージェントをインストールします。

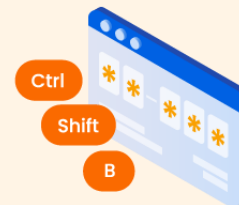
- 作業環境
使用するエッジデバイス



注意

Allxon DMS エージェントがインストール済みの場合：

Ctrl+Shift+B キーを押して Allxon DMS エージェントを起動し、
「[4.1.2 デバイスペアリングコードの取得](#)」に進んでください。



4.1.1 Allxon DMS エージェントのインストール

Allxon は、インストール作業の簡素化と最適な RMM および障害復旧ソリューションの提供のために、世界の主要独立系ハードウェアプロバイダー各社と提携しています。

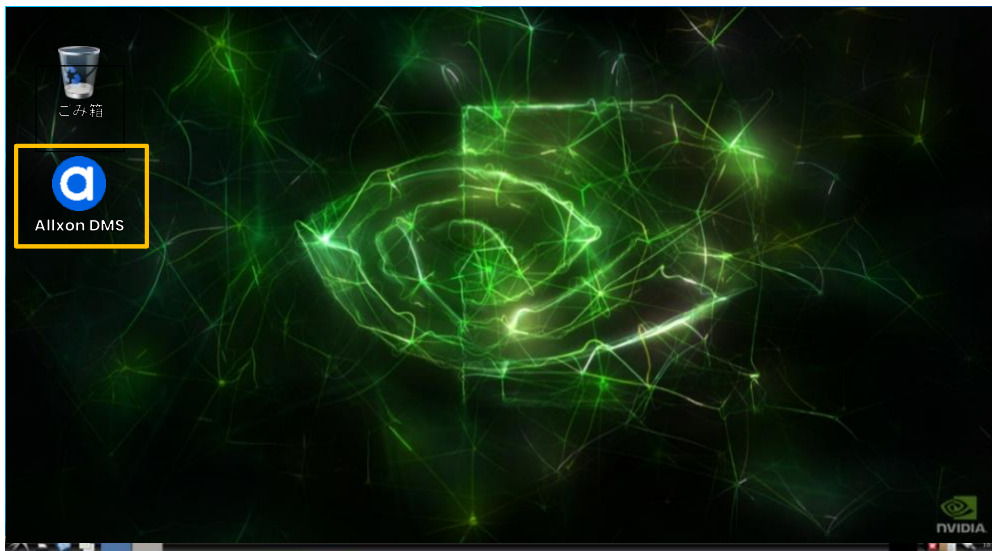
Allxon DMS エージェントは、以下の 2 通りの方法でインストールできます。

1. デバイスのデスクトップで Allxon DMS エージェントのインストーラを実行する（特定のデバイスのみ）。
2. ターミナル / シェルでインストールコマンドを実行する。

4.1.1.1 デスクトップインストーラによる Allxon DMS エージェントのインストール

Allxon のハードウェアパートナーが提供する特定のデバイスでは、デスクトップから Allxon DMS エージェントのインストールを開始できます。

① デスクトップに移動し、Allxon DMS のアイコンをダブルクリックします（特定のデバイスのみ）。



注意

デスクトップ上に Allxon DMS のアイコンがない場合：

「[4.1.1.2 コマンドプロンプトによる Allxon DMS エージェントのインストール](#)」の手順に従って手動でインストールしてください。

② ターミナル画面で **Enter** キーを押して、インストールプロセスを続行します。

```
allxon_dms_installer.sh
File Edit Tabs Help
Remote Device Monitoring and Management Solution
-----
Allxon, an NVIDIA® Jetson™ Preferred Partner, provides easy and secure remote monitoring & management solutions to edge devices on various platforms. Allxon Device Management Solutions (Allxon DMS) is free for basic device management services; you can use Allxon DMS to access & manage your edge devices, and to solve operation problems remotely.

Want to know more? Please visit https://allxon.com/

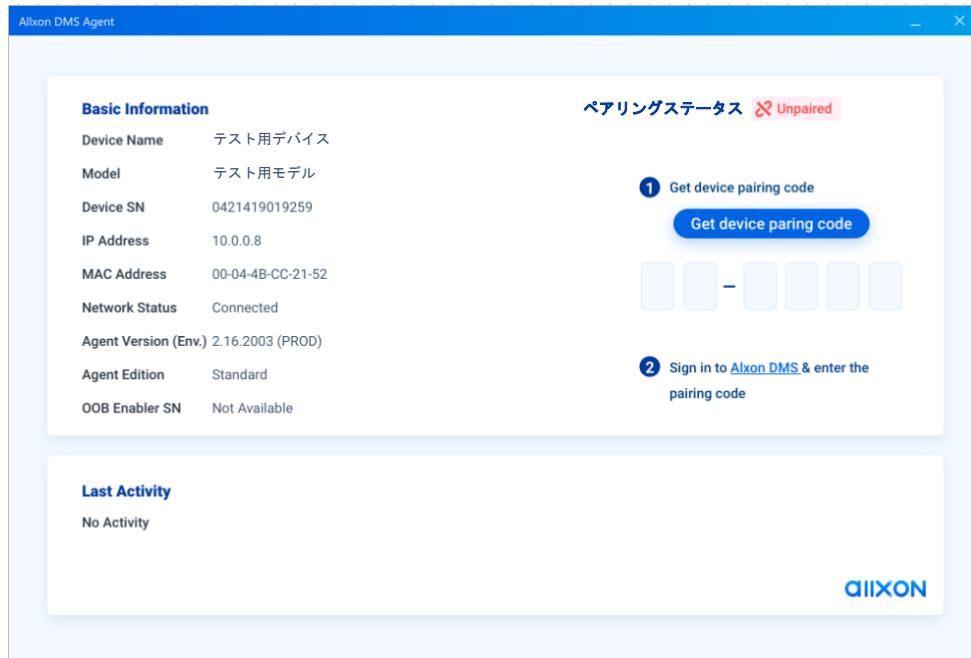
Before you get to monitor, manage & control this device remotely from Allxon DMS, you need to install Allxon DMS agent on your edge device first. This package contains some dependency libraries.

List of dependency libraries:
gcc-multilib or g++-multilib, libssl-dev, libcurl4, gnome-screenshot, lshw, lm-sensors, libblkid1, x11-xserver-utils, net-tools

Press [Enter] to continue Allxon DMS agent installation or Ctrl+C to cancel installation.
```

③ インストールが正常に完了すると、5 秒後に Allxon DMS エージェントが自動的に起動します。

Allxon DMS エージェントが起動しない場合は、**Ctrl+Shift+B** キーを押して起動してください。



④ これで、Allxon DMS エージェントがお使いのエッジデバイスにインストールされました。次に「[4.1.2 デバイスペアリングコードの取得](#)」の手順に従って、デバイスペアリングコードを取得し、Allxon DMS にエッジデバイスを追加します。

4.1.1.2 コマンドプロンプトによる Allxon DMS エージェントのインストール

デスクトップ上に Allxon DMS エージェントのインストーラがない場合、コマンドプロンプトを使用すれば素早く簡単にインストールできます。

① コマンドプロンプトを使用して Allxon DMS エージェントをインストールするには、以下の手順に従います。下記のコマンドを入力すると、Allxon DMS エージェントと関連パッケージのインストールが自動的に始まります。



注意

以下のコマンドは改行せずに入力してください。



Linux : ターミナルまたは SSH クライアントのインストールコマンド

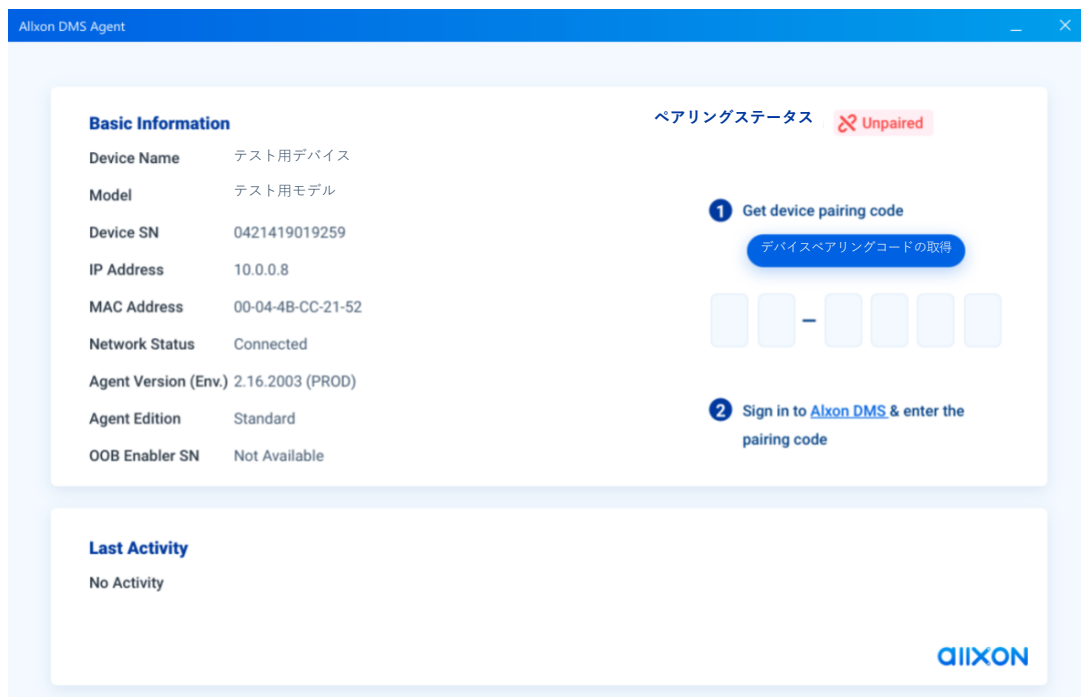
```
sudo bash -c "$(wget -qO - https://get.allxon.net/linux)"
```



Windows : コマンドプロンプトのインストールコマンド
(管理者として実行してください)

```
powershell -command "Invoke-WebRequest -OutFile %temp%\%agent-installer.bat https://get.allxon.net/windows" && %temp%\%agent-installer.bat
```

② インストールが正常に完了すると、Allxon DMS エージェントが自動的に起動します。Allxon DMS エージェントが起動しない場合は、**Ctrl+Shift+B** キーを押して起動してください。



4.1.2 デバイスペアリングコードの取得

Allxon DMS のペアリングを行う前に、デバイスからデバイスペアリングコードを取得します。環境に応じて、**グラフィカルユーザーインターフェイス (GUI)** または **コマンドラインインターフェイス (CLI)** を使用します。

4.1.2.1 グラフィカルユーザーインターフェイス (GUI) を使用する場合

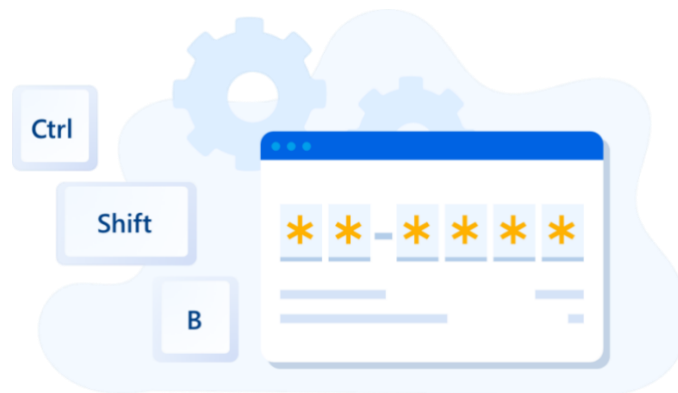


作業環境

GUI を備えたエッジデバイス上の Allxon DMS エージェント。



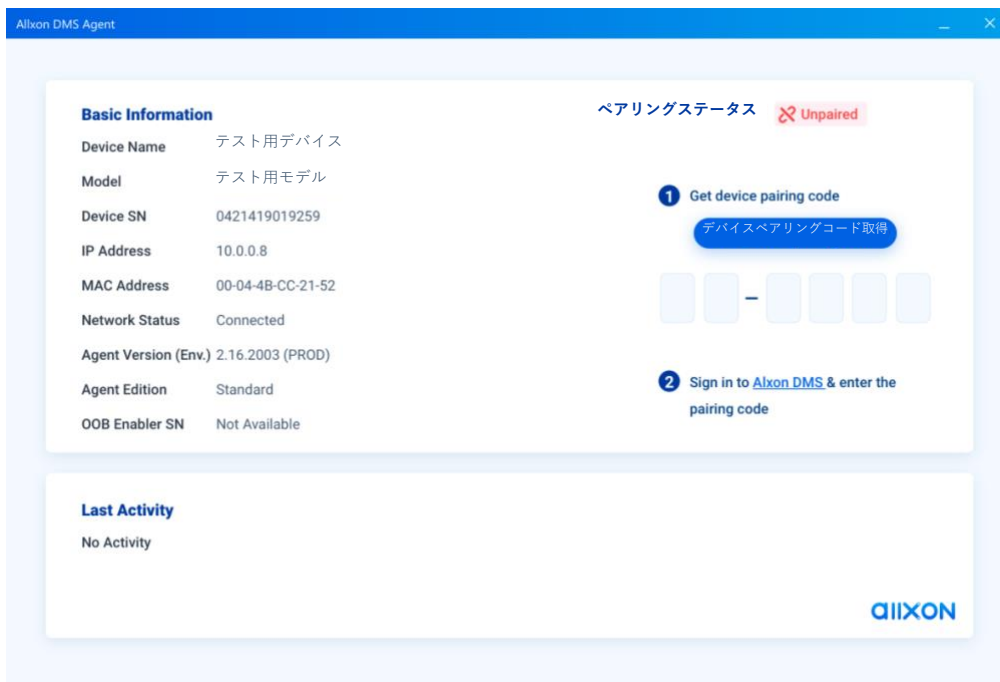
デバイス上で **Ctrl+Shift+B** キーを押して、Allxon DMS エージェントを起動します。



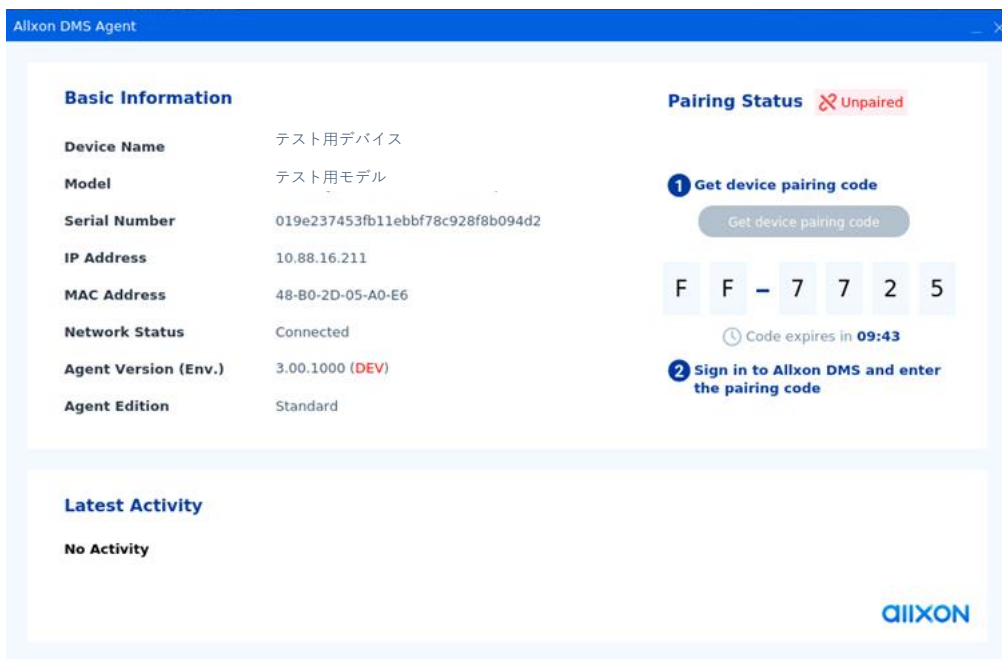
注意

Allxon DMS エージェントがインストールされていない場合は、[「4.1.1 Allxon DMS エージェントのインストール」](#)の手順に従ってインストールしてください。

- 2 画面右側の「デバイスペアリングコード取得」ボタンをクリックします。



- 3 デバイスペアリングコードが表示されます。



- 4 ペアリングコードを取得したら「4.2 Allxon DMS ポータルへのデバイスの追加」に進み、ペアリングコードを入力してデバイスを Allxon DMS ポータルとペアリングします。

4.1.2.2 コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用する場合

✓ 作業環境

CLI を備えたエッジデバイス上の Allxon DMS エージェント。



💡 注意

1. Allxon DMS エージェントがインストールされていない場合は、[「4.1.1 Allxon DMS エージェントのインストール」](#) の手順に従ってください。
2. CLI は、以下のアーキテクチャと OS でのみサポートされます。
 - Ubuntu 18.04 で動作する **Linux ARM NVIDIA Jetson システム**
 - Ubuntu 18.04 以降で動作する **Linux x86 (32 ビットおよび 64 ビット) デバイス**

1 CLI を使用してデバイスにアクセスする場合、以下のコマンドをターミナルまたは SSH クライアントに入力することで、デバイスペアリングコードを取得できます。

✓ Linux : ターミナルまたは SSH クライアントのペアリングコード取得コマンド

```
dms-get-pairing-code
```

2 実行すると、デバイスペアリングコードが表示されます。

```
james@ubuntuserver:~ — ssh
james@ubuntuserver:~$ dms-get-pairing-code
Allxon DMS Device Pairing Code: "FF-7725"
Please sign in to Allxon DMS (https://dms.allxon.com) & enter the pairing code in 10 minutes (before
July 7, 2021 17:30 system time)
```

3 ペアリングコードを取得したら「4.2 Allxon DMS ポータルへのデバイスの追加」に進み、ペアリングコードを入力してデバイスを Allxon DMS ポータルとペアリングします。

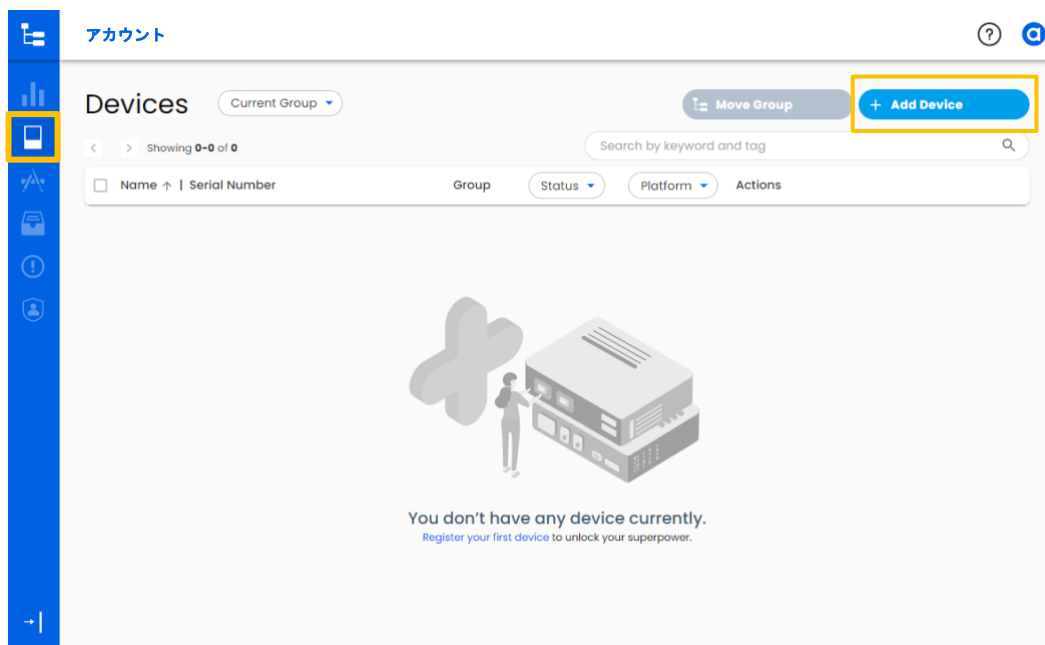
4.2 Allxon DMS ポータルへのデバイスの追加

Allxon は、あらゆるエッジデバイスに対応したリモートデバイス管理サービスを提供できるように努めています。Allxon DMS エージェントを使用すれば、インバンドデバイスやアウトオブバンド機能を Allxon DMS ポータルと素早く簡単にペアリングできます。

Allxon は、NVIDIA® Jetson™を搭載したエッジデバイスなどのさまざまなプラットフォームと OS をサポートし、他のデバイスへの Allxon DMS エージェントのインストールをペアリングプロセスと同様に簡単に行えるようにしています。

4.2.1 デバイスペアリングの準備

デバイスを追加するには、[Allxon DMS ポータル](#)にサインインし、左側のナビゲーションパネルの「デバイス」をクリックします。



デバイスペアリングコードを準備し、「+デバイス追加」ボタンをクリックします。

注意

デバイスペアリングコードがない場合：

[「4.1.2 デバイスペアリングコードの取得」](#)に戻ってコードを取得してください。

4.2.2 デバイスペアリングコードの入力

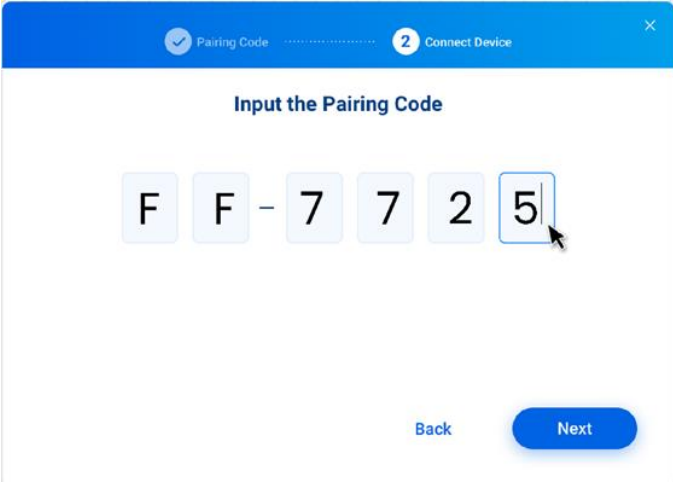
デバイスペアリングコードを準備し、以下の手順に従って Allxon DMS ポータルにコードを入力します。

✓ 作業環境

Allxon DMS ポータル



① 「[4.1.2 デバイスペアリングコードの取得](#)」で取得したデバイスペアリングコードを Allxon DMS ポータルに入力して、デバイスの追加を完了させます。



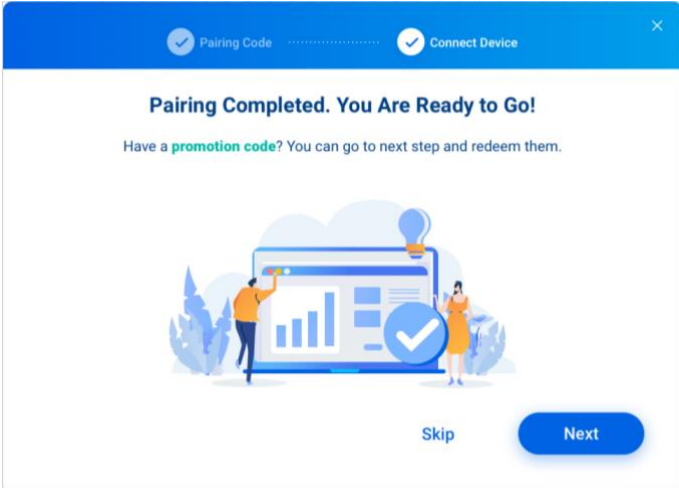
Pairing Code 2 Connect Device

Input the Pairing Code

F F - 7 7 2 5

Back Next

② デバイスペアリングコードを入力すると、「ペアリングが完了しました。」というメッセージが表示されます。「次へ」をクリックすると、プロモーションコードの入力画面が表示されます。詳細は「[付録 A：プロモーションコードの利用](#)」を参照してください。あるいは、「スキップ」をクリックしてペアリングプロセスを終了します。



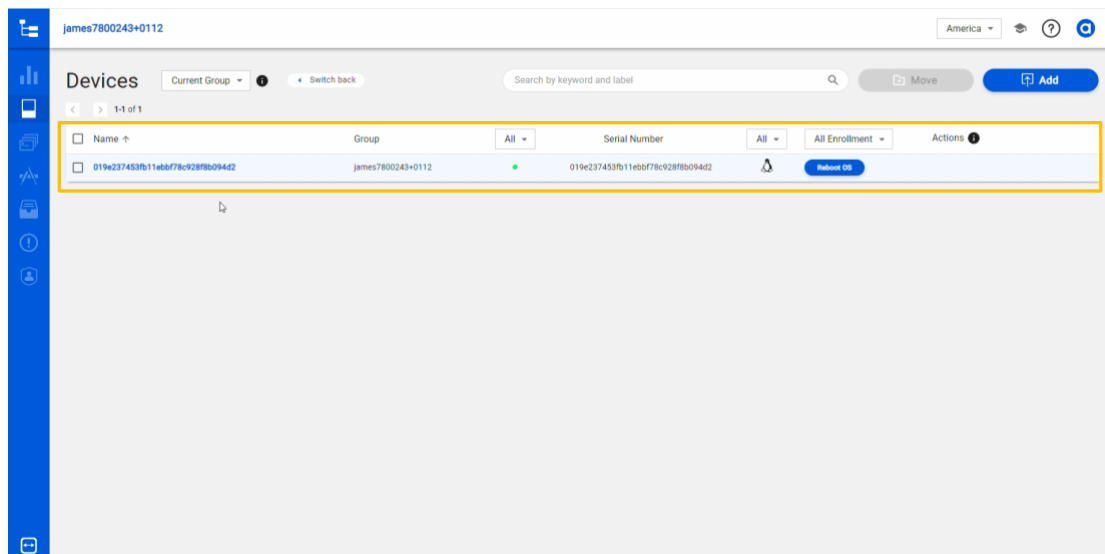
Pairing Code ✓ Connect Device

Pairing Completed. You Are Ready to Go!

Have a promotion code? You can go to next step and redeem them.

Skip Next

- 3 ペアリング作業が完了すると、「デバイス」ページのリストにエッジデバイスとその概要、コントロールが表示されます。



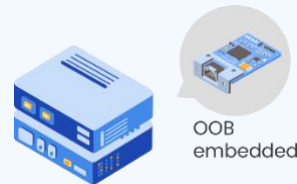
次章「[4.3 デバイスのアウトオブバンド管理の有効化](#)」では、**アウトオブバンド障害復旧ソリューション**で Allxon DMS を最大限に活用するために、デバイスを Allxon swiftDR OOB Enabler とリンクする方法を学びます。

4.3 デバイスのアウトオブバンド管理の有効化

Allxon swiftDR OOB Enabler は、エッジデバイスに組み込んでリモートのアウトオブバンド障害復旧を実現することができるハードウェアモジュールです。この最新技術を利用すれば、デバイスのハードウェアとソフトウェアが応答しない状況でも、デバイスの強制シャットダウンや、電源オン/オフスケジュールの設定が行えます。

✓ 作業環境

Allxon swiftDR OOB Enabler を搭載したエッジデバイス



💡 注意

Allxon swiftDR OOB Enabler をデバイスに組み込む方法については、弊社サービス部門 (service@allxon.com) までお問い合わせください。

「[4.2 Allxon DMS ポータルへのデバイスの追加](#)」でインバンドデバイスのペアリングが完了したら、以下の手順に従って Allxon swiftDR OOB Enabler を Allxon DMS ポータルとリンクできます。

デバイス上で **Ctrl+Shift+B** キーを押して、Allxon DMS エージェントを起動します。ペアリングステータスが「**ペアリング済み**」のインバンドデバイスはペアリング済みで、Allxon DMS ポータルに接続されています。次に、「**OOB の設定とリンク**」をクリックして、OOB Enabler を設定する必要があります。

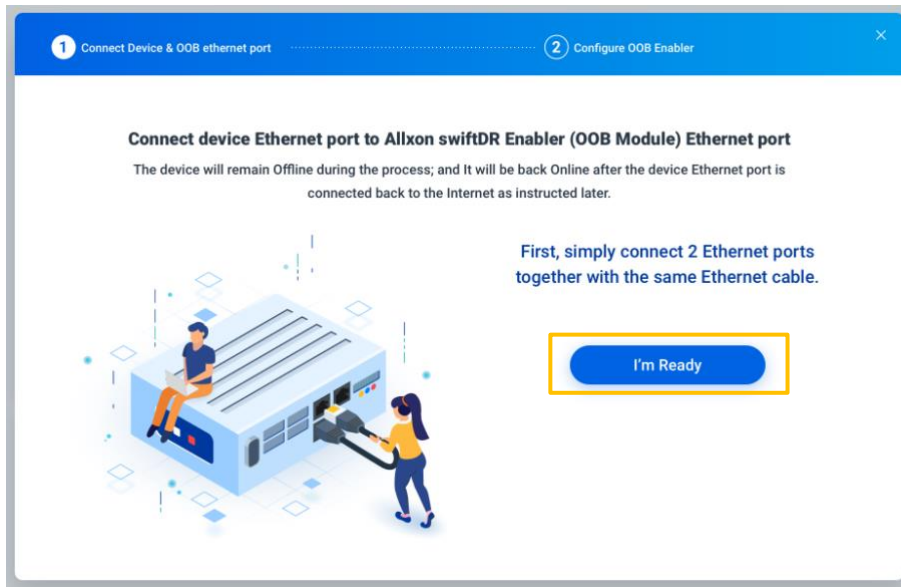
The screenshot shows the Allxon DMS Agent interface. On the left, under 'Basic Information', the following details are listed: Device Name (テスト用デバイス), Model (テスト用モデル), Device SN (0421419019259), IP Address (10.0.0.8), MAC Address (00-04-4B-CC-21-52), Network Status (Connected), Agent Version (Env.) 2.16.2003 (PROD), Agent Edition (Standard), and OOB Enabler SN (Not Available). On the right, the 'Pairing Status' is 'Paired'. A 'Configure & Link OOB' button is visible. Below the main information, the 'Last Activity' section shows 'No Activity'. The Allxon logo is in the bottom right corner.

4.3.1 OOB Enabler とデバイスの接続

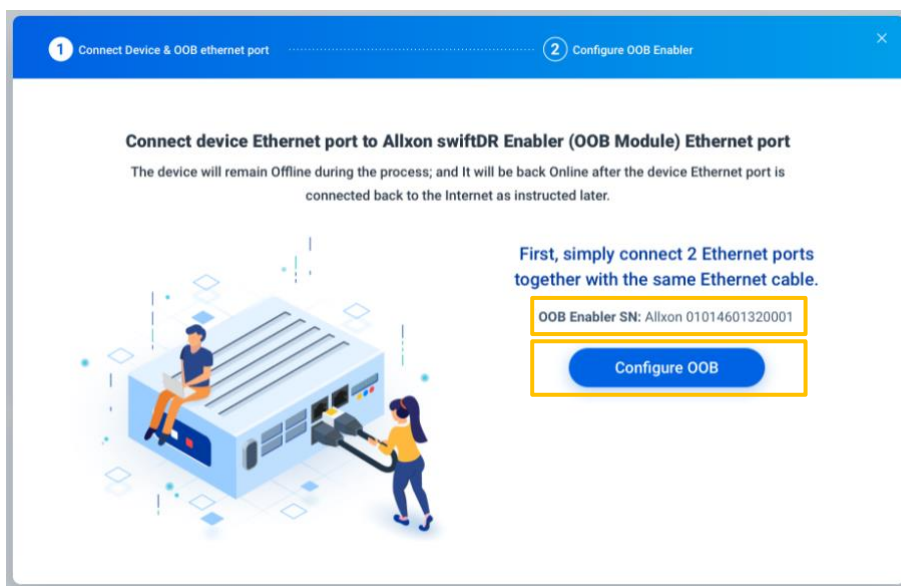
① **OOB** のイーサネットポートとデバイスのイーサネットポートをイーサネットケーブルで接続します。接続した後、「準備完了」をクリックします。

💡 注意

後でイーサネットケーブルをインターネットに再接続するまで、デバイスはオフライン状態です。



② OOB Enabler との接続を確認しやすいように、**OOB Enabler** のシリアル番号が表示されます。「**OOB 設定**」をクリックして作業を続けます。



4.3.2 OOB Enabler の ID の確認

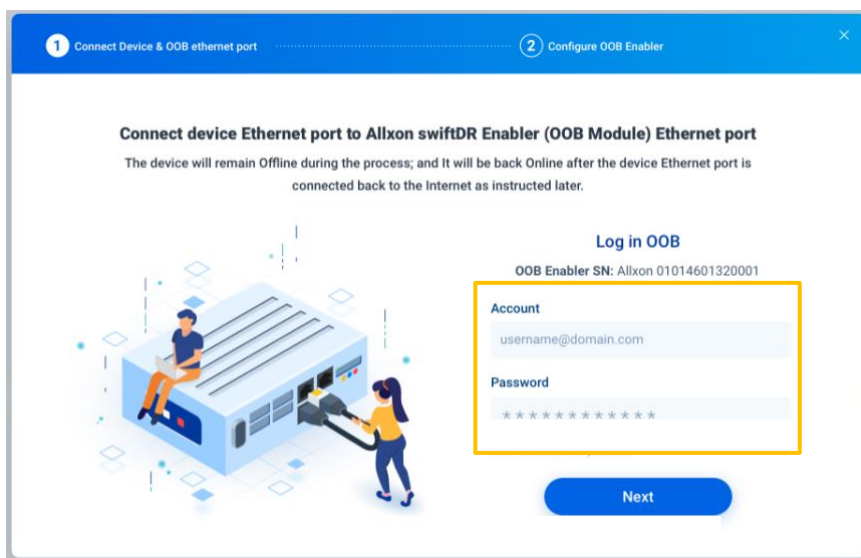
① 以下に示す OOB Enabler のデフォルト資格情報を使用してユーザーを認証した後、「次へ」をクリックします。

☑ **OOB Enabler のデフォルト資格情報**

アカウント：admin

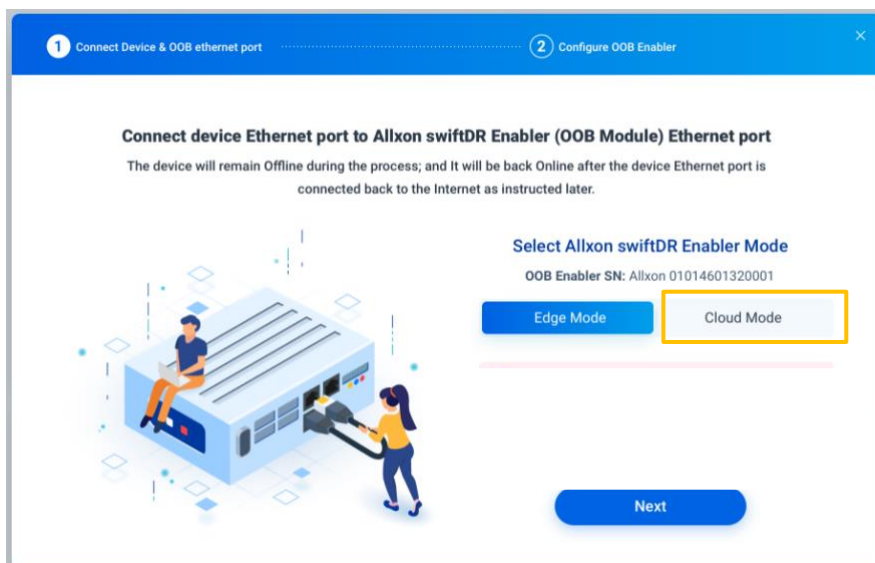
パスワード：0000

*注意：パスワードを変更済みの場合は、変更後のアカウントとパスワードを使用して認証を行ってください。



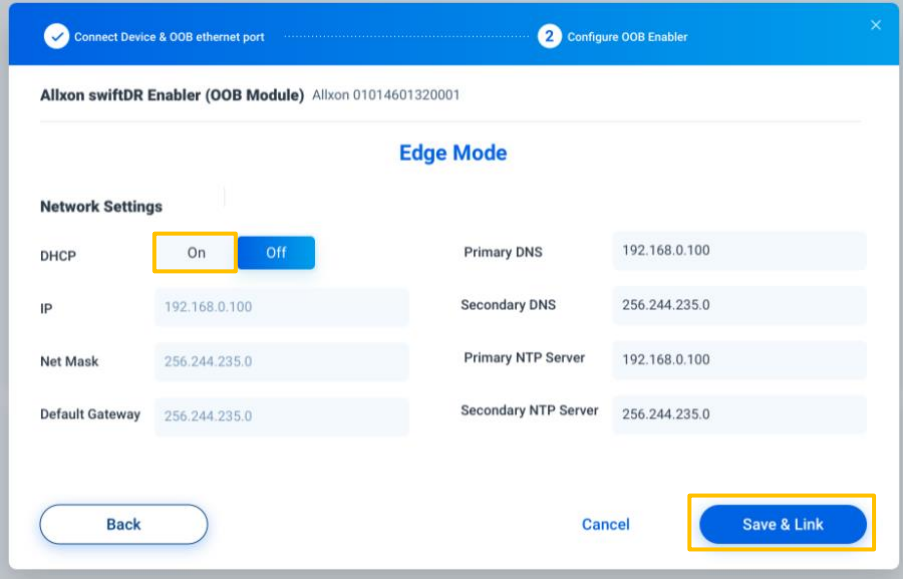
The screenshot shows a web interface for configuring the OOB Enabler. The title bar indicates two steps: '1 Connect Device & OOB ethernet port' and '2 Configure OOB Enabler'. The main heading is 'Connect device Ethernet port to Allxon swiftDR Enabler (OOB Module) Ethernet port'. Below this, a note states: 'The device will remain Offline during the process; and It will be back Online after the device Ethernet port is connected back to the Internet as instructed later.' On the left, there is an illustration of a server rack with a person sitting on top and another person plugging a cable into the back. On the right, there is a 'Log in OOB' section with the OOB Enabler SN: Allxon 01014601320001. Below this, there are two input fields: 'Account' with the value 'username@domain.com' and 'Password' with masked characters '*****'. A blue 'Next' button is located at the bottom right.

② 「クラウドモード」を選択し、「次へ」をクリックします。



The screenshot shows the same web interface as the previous one, but at the 'Select Allxon swiftDR Enabler Mode' step. The OOB Enabler SN is still Allxon 01014601320001. There are two buttons: 'Edge Mode' and 'Cloud Mode'. The 'Cloud Mode' button is highlighted with a yellow border. A blue 'Next' button is located at the bottom right.


③ ネットワーク設定では、**DHCP** を「オン」に設定し、**プライマリ DNS**、**セカンダリ DNS**、**プライマリ NTP サーバー**、**セカンダリ NTP サーバー**の値を入力します。入力が完了したら「**保存とリンク**」をクリックし、設定とデバイスペアリングを続けます。



The screenshot shows the 'Configure OOB Enabler' window for an Allxon swiftDR Enabler (OOB Module). The 'Edge Mode' section is active, displaying 'Network Settings'. The DHCP setting is set to 'On'. The IP address is 192.168.0.100, Net Mask is 256.244.235.0, and Default Gateway is 256.244.235.0. The Primary DNS is 192.168.0.100, Secondary DNS is 256.244.235.0, Primary NTP Server is 192.168.0.100, and Secondary NTP Server is 256.244.235.0. The 'Save & Link' button is highlighted with a yellow border.

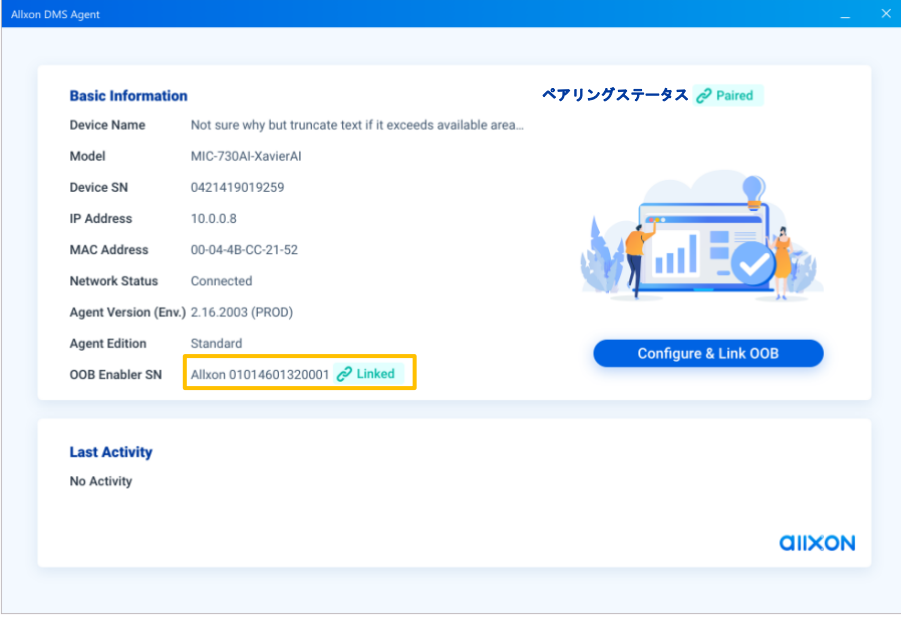
4.3.3 LAN の再接続

① 情報を入力すると、OOB Enabler のネットワーク設定が行われ、OOB Enabler がデバイスに接続されます。デバイスと OOB のイーサネットポートから**イーサネットケーブルを抜きます**。その後、デバイスと OOB のイーサネットポートを**別々にインターネットに再接続**します。「**完了**」をクリックします。



The screenshot shows the 'Connect Device Ethernet Port & OOB Ethernet Port to the Internet Separately' window. The status is 'Linked, waiting to update'. The text below the title reads: 'Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Nunc cursus at mauris nec dictum.' An illustration shows a network device connected to a cloud. The 'Finish' button is highlighted with a yellow border.

② ペアリングが正常に完了すると、**OOB Enabler** のシリアルナンバーと「リンク済み」マークが Allxon DMS エージェントに表示されます。



The screenshot displays the 'Allxon DMS Agent' window. The 'Basic Information' section lists the following details:

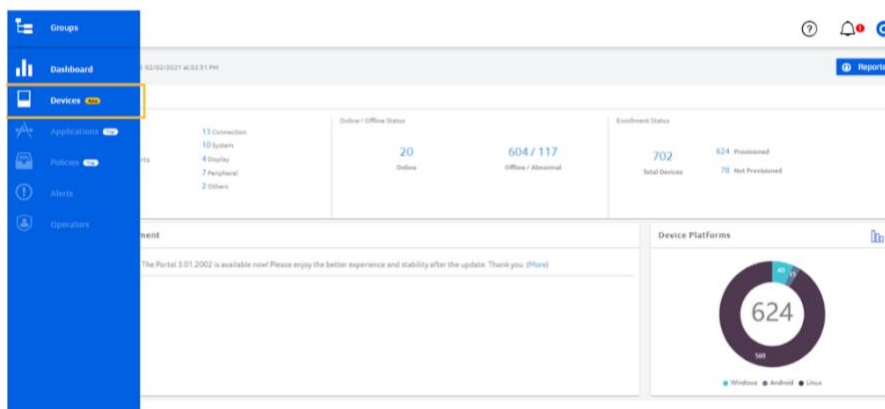
Field	Value
Device Name	Not sure why but truncate text if it exceeds available area...
Model	MIC-730AI-XavierAI
Device SN	0421419019259
IP Address	10.0.0.8
MAC Address	00-04-4B-CC-21-52
Network Status	Connected
Agent Version (Env.)	2.16.2003 (PROD)
Agent Edition	Standard
OOB Enabler SN	Allxon 01014601320001 Linked

The 'Pairing Status' is indicated as 'Paired' with a green checkmark icon. A 'Configure & Link OOB' button is visible. The 'Last Activity' section shows 'No Activity'. The AIIXON logo is located in the bottom right corner of the interface.

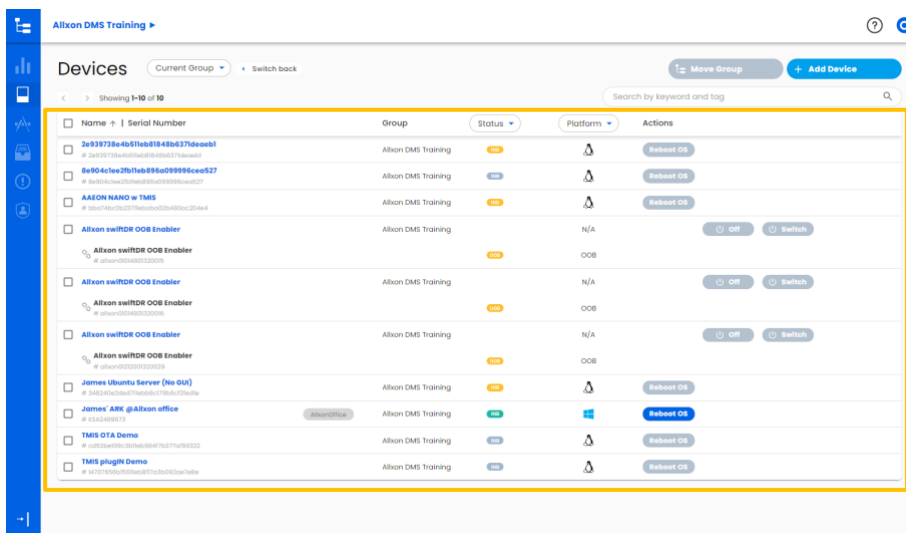
5. Allxon DMS ポータル上のデバイス

正常に追加されたエッジデバイスは Allxon DMS ポータルに表示され、リモートで監視や管理を行えるようになります。デバイスを確認するには、以下の手順に従います。

- 1 お使いのアカウントとパスワードでポータル (<https://dms.allxon.com>) にサインインします。
- 2 Allxon DMS ポータル左側のナビゲーションパネルの「デバイス」をクリックします。



- 3 「デバイス」ページが開き、ポータルに追加したすべてのデバイスが一覧表示されます。



各デバイスの名前をクリックすると、デバイスのシステム状態やリモート機能に関する詳細情報が表示されます。

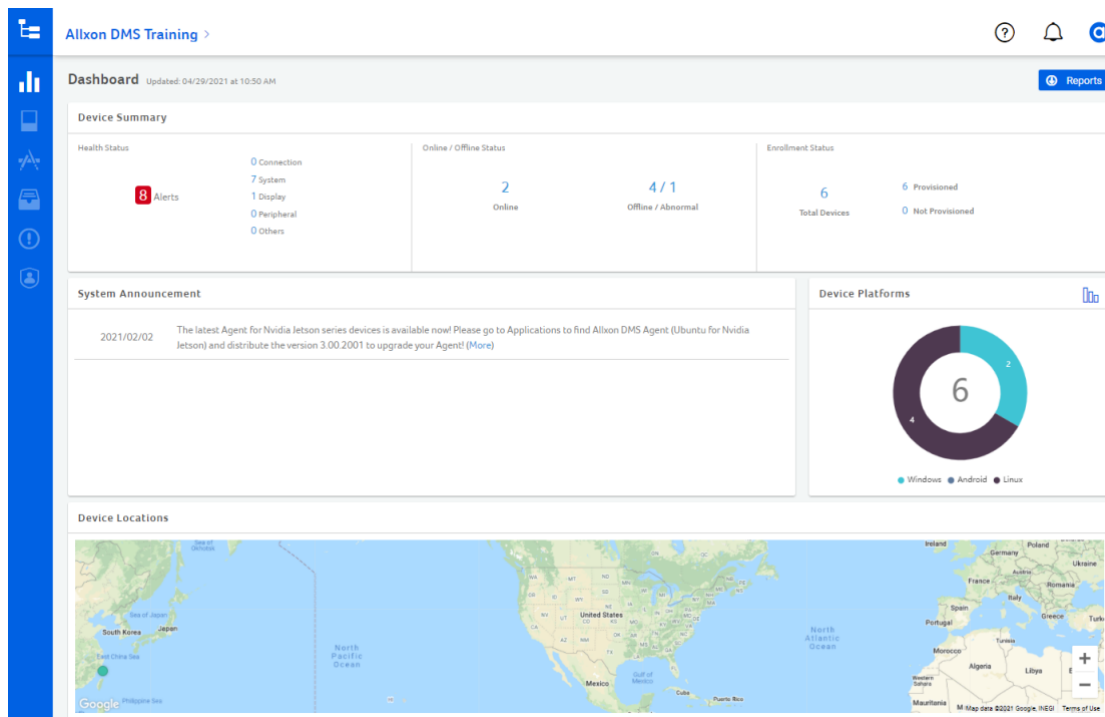
6. Allxon DMS ポータル

Allxon DMS ポータルは、スマートな運用管理に必要なすべてのツールを1つのポータルに集約しています。使いやすいナビゲーションバーにより、デバイスの全体像

の把握、デバイス管理のためのコマンド送信やアラート設定、シンプルな管理機能による業務の整理など、必要なすべての機能やヘルプを呼び出すことができます。

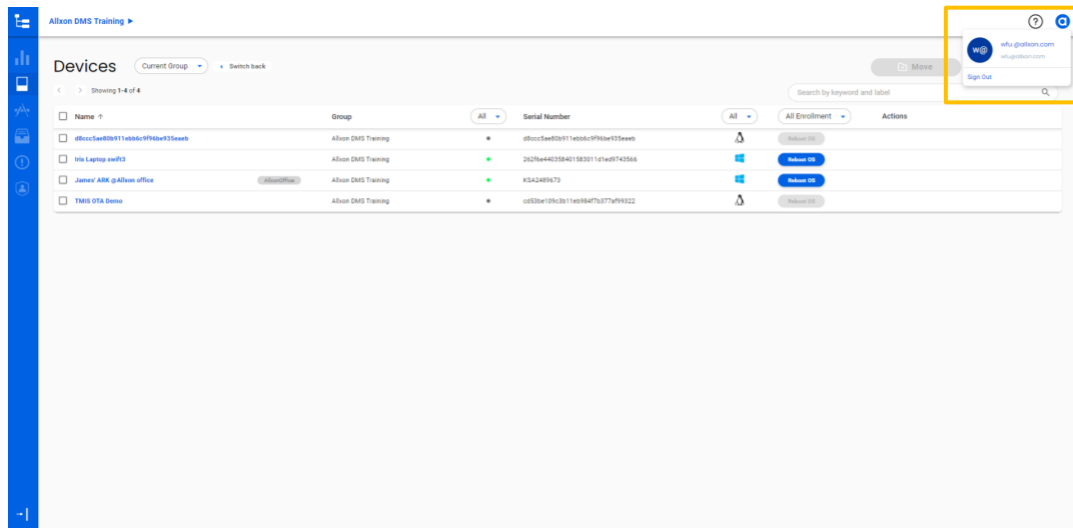
6.1 マイアカウント

Allxon DMS ポータルにサインインすると、割り当てられたグループの「ダッシュボード」ページが表示されます。画面右上隅の各アイコンをクリックすると、「プロフィール」、「通知」、「ヘルプ」ページを開くことができます。詳細は「[6.2 ダッシュボード](#)」を参照してください。



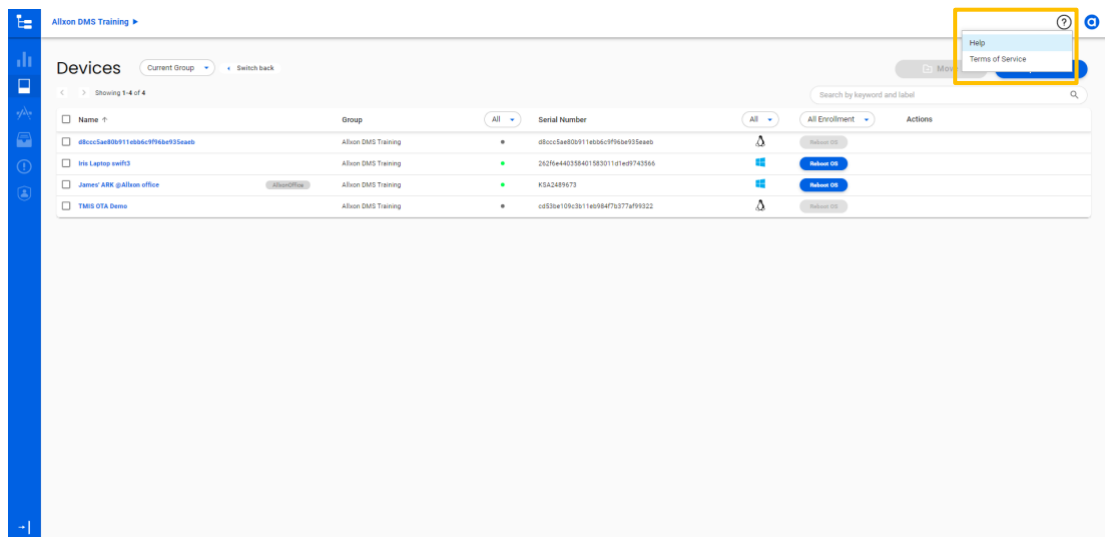
6.1.1 プロフィール

プロフィールアイコンをクリックすると、ユーザーの**基本情報**を表示/編集できます。また、「**セキュリティ**」でパスワードを変更したり、「**アクセス**」でアクセス権の詳細情報を確認したりすることもできます。管理上の役割と管理レベルについては、「[6.8 ユーザー](#)」で解説します。



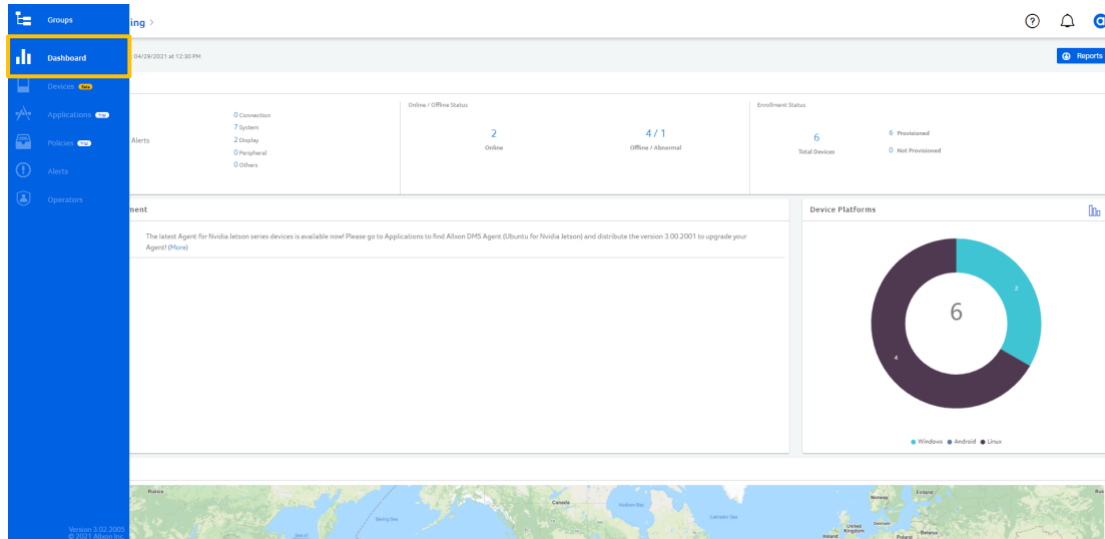
6.1.2 ヘルプ

Allxon DMS のヘルプはいつでも呼び出せます。「**?**」アイコンをクリックすると、**ヘルプ**と**利用規約**を表示できます。




6.2 ダッシュボード

Allxon DMS は、リモートデバイス管理を簡素化することに重点を置いています。「**ダッシュボード**」ページでは、デバイスの状態、プラットフォーム、位置といった包括的な概要を一目で把握できます。また、「システム運用のお知らせ」により、常に最新のシステムアップデート情報を入手できます。



① デバイス概要

- **ヘルス状態**：システム温度、CPU、メモリ、ストレージ使用量の異常を警告します。デバイスアラートの設定方法は、「[6.7 アラート](#)」を参照してください。
- **接続状態**：オンライン/オフライン/異常状態のデバイス数を表示します。
- **登録状態**：開通済み/未開通のデバイス数を表示します。

Device Summary		
Health Status  Alerts 0 Connection 7 System 2 Display 0 Peripheral 0 Others	Online / Offline Status 2 Online 4 / 1 Offline / Abnormal	Enrollment Status 6 Total Devices 6 Provisioned 0 Not Provisioned

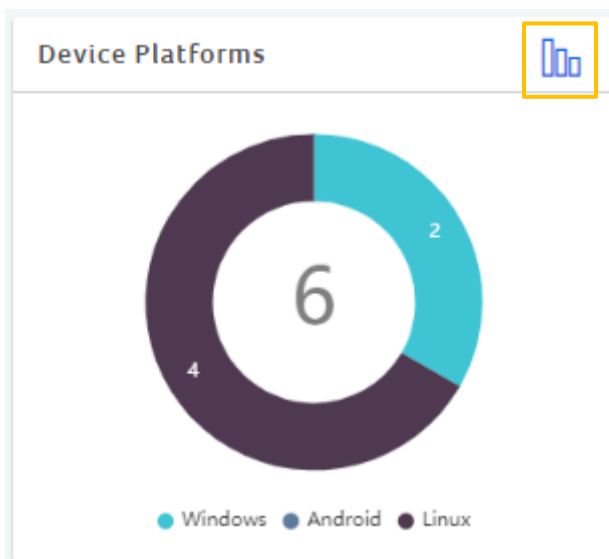
② システム運用のお知らせ

Allxon DMS は、お客様の悩みの種に迅速に対応し、よりシンプルな運用管理ソリューションによってユーザーエクスペリエンスの継続的改善に努めています。「システム運用のお知らせ」セクションでは、Allxon ポータルおよびエージェントに関する最新ニュースと更新情報をお知らせします。



③ デバイスプラットフォーム

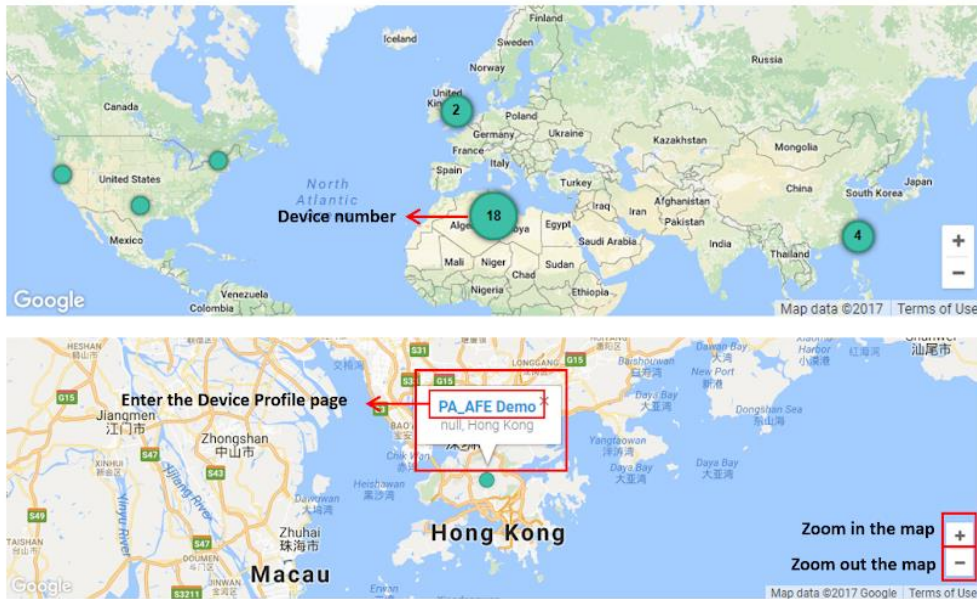
「デバイスプラットフォーム」は、接続中のデバイス数を OS 別に表示します。



アイコンをクリックするたびに、「デバイスプラットフォーム」の表示が円グラフと棒グラフの間に交互に切り替わります。

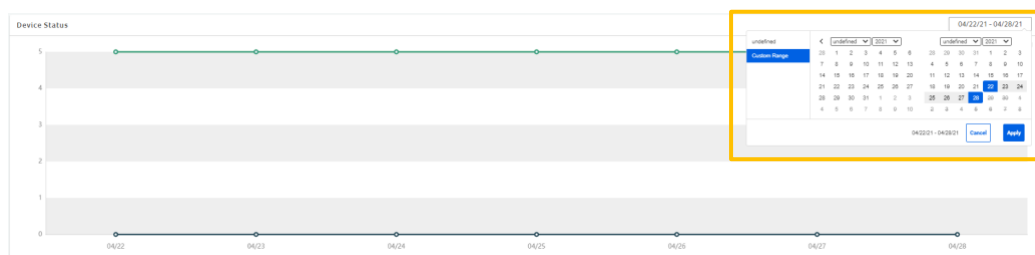
4 デバイス位置

各国で接続・稼働中のデバイスの一覧を地図上に表示します。各デバイスの名前とデバイス数がクラスタとして表示されます。ズームイン（「+」をクリック）/ズームアウト（「-」をクリック）ができるほか、国や都市にマウスポインタを合わせると各デバイスの詳細が表示されます。また、デバイス名をクリックすると、「**デバイスプロファイル**」ページに直接移動できます。



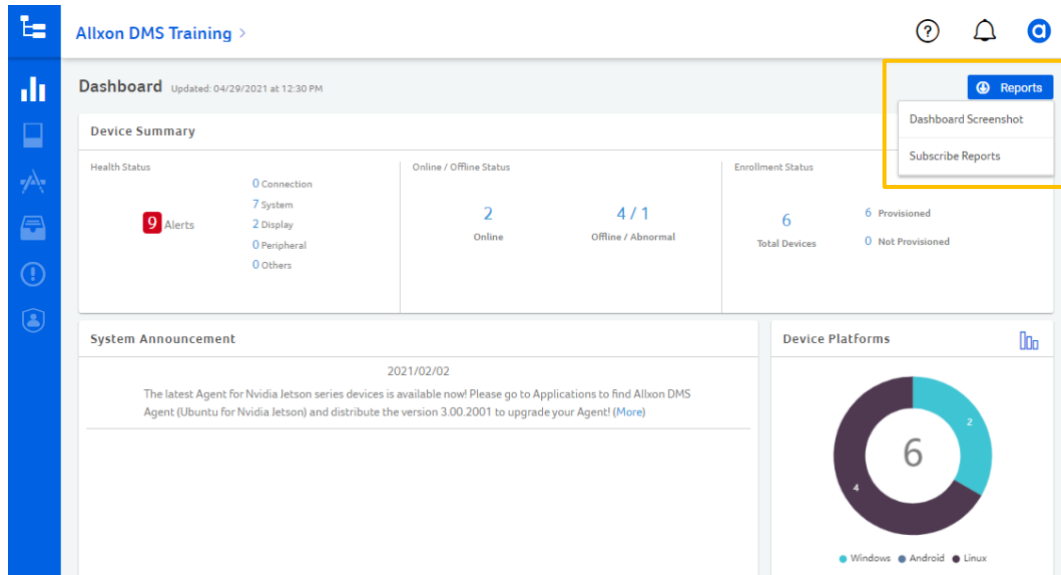
5 デバイス状態

デバイス状態の時間変化を折れ線グラフで表示します。日付をクリックすると表示する期間を変更できます。各データ点にマウスポインタを合わせると、使用可能なデバイス（開通済み）や、使用できないデバイス（未開通）の総数が表示されます。

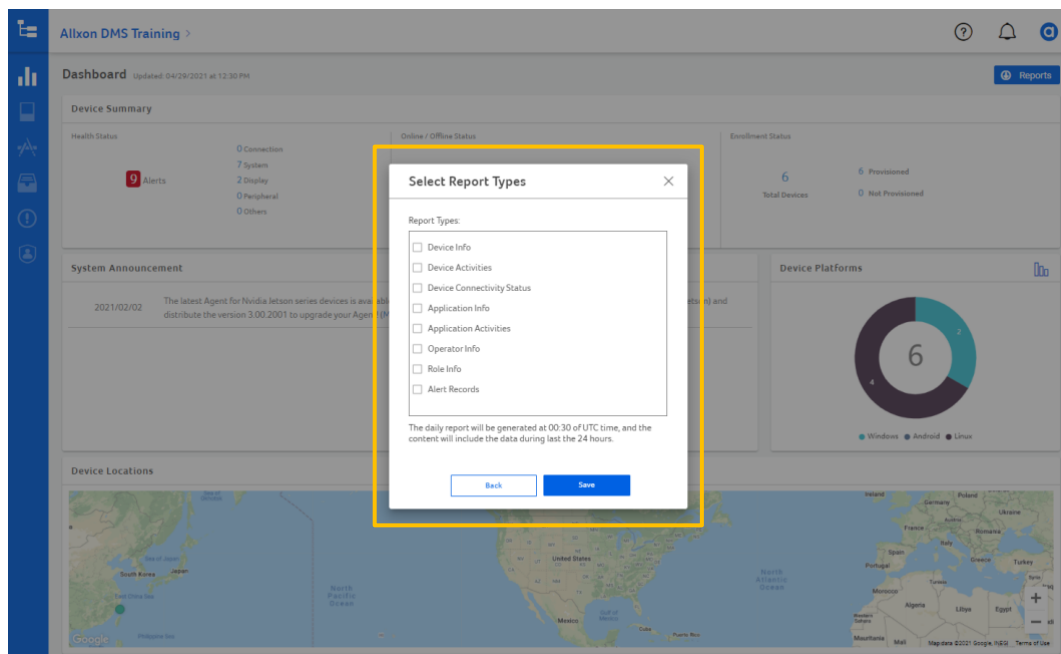


6 レポート

Allxon DMS ポータルには、業務活動やデバイスの運用状況を簡単に記録できる便利なツールが用意されています。「レポート」をクリックすると、ダッシュボードのスクリーンショットを簡単に保存したり、運用パフォーマンスのレビューに役立つ日次レポートを購読したりすることができます。

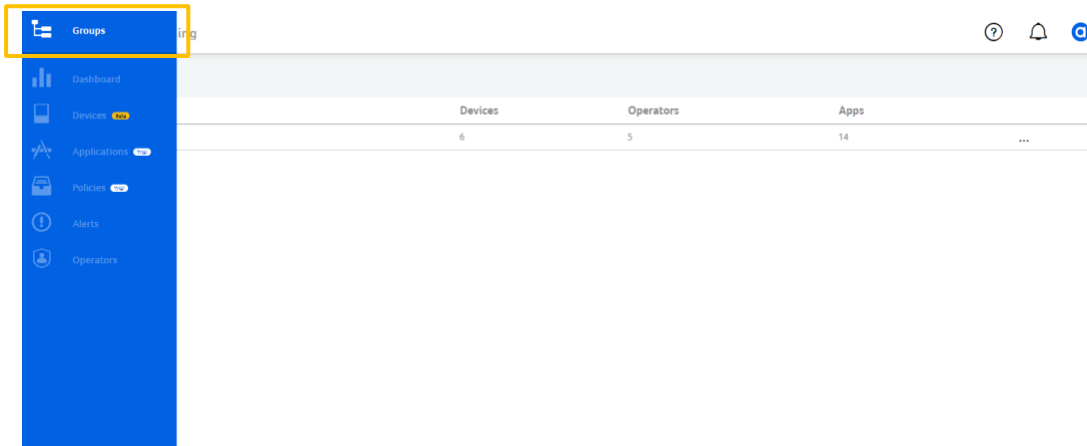


日次レポートは CSV ファイルとして保存され、ポータル上に 30 日間保管されます。また、「レポート種類」を選択して日次レポートをダウンロードすることも可能です。0 時 30 分（協定世界時）に、直近 24 時間の詳細なパフォーマンスレポートが作成されます。



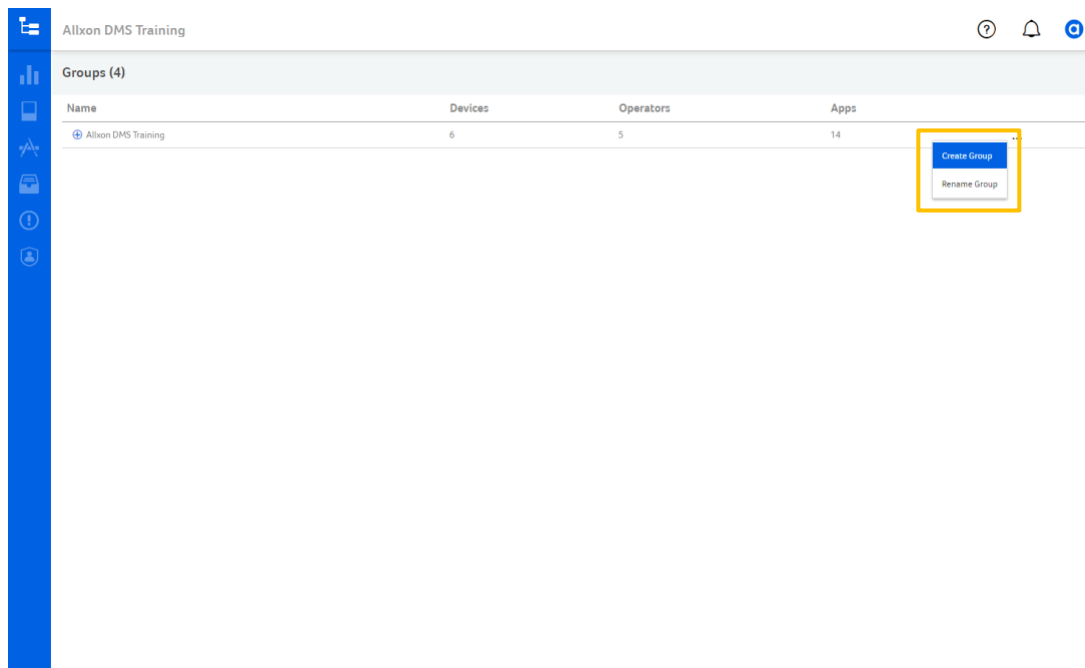
6.3 グループ

Allxon DMS ポータルには、常に整理された状態に維持するのに役立つシンプルな管理ツールが用意されています。「**グループ**」ページの「...」メニュー（画面右側）をクリックすると、グループの作成、管理、名前の変更を行えます。それにより、社内の各グループまたはサブグループに接続されたデバイス、ユーザー、およびアプリケーションの数を把握できます。

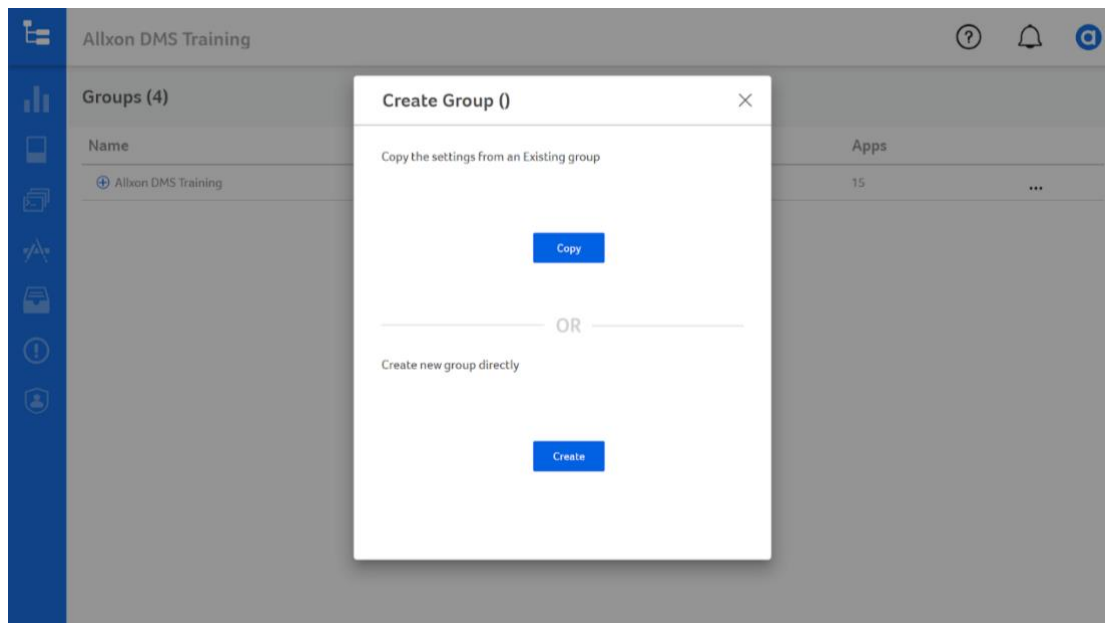


① グループ作成

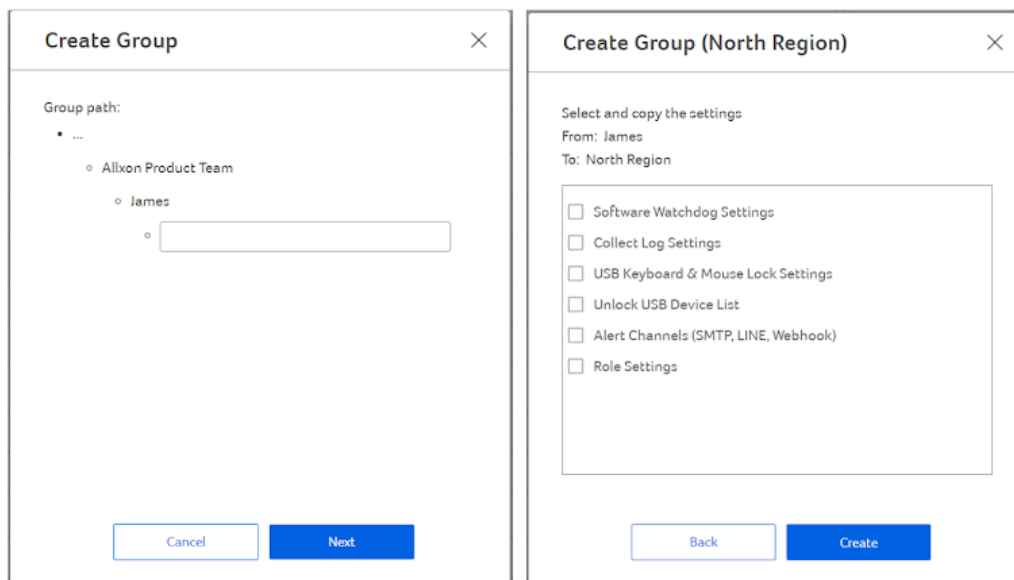
「...」メニューをクリックし、「**グループ作成**」を選択します（この操作にはアクセス権が必要です）。グループの名前を入力し、「**次へ**」をクリックします。



グループを「コピー」するか、「作成」するかを選択できます。



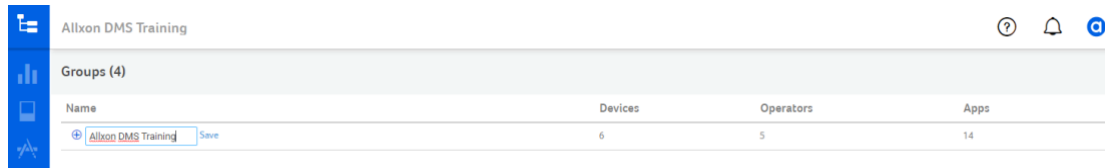
既存のグループに対するアクセス権がある場合、グループをコピーして複製し、そのグループに割り当てられているすべての設定を引き継ぐことができます。引き継ぎ可能な設定は、ソフトウェアウォッチドッグ設定、ログ収集設定、USB キーボード及びマウスロック設定、ロック解除 USB デバイスリスト設定、アラートチャンネル（SMTP、LINE、Webhook）設定、役割設定です。



また、単に新しいグループを作成し、必要な設定を適用することも可能です。

② グループ名変更

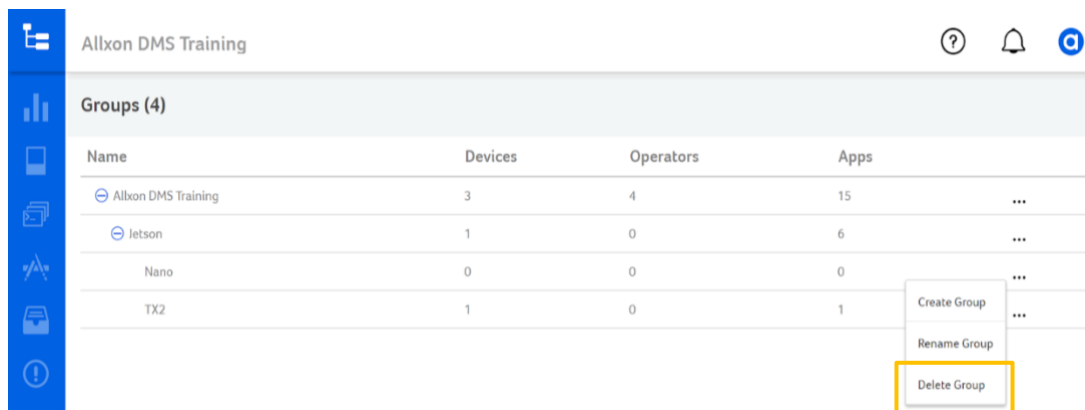
「…」メニューをクリックし、「**グループ名変更**」を選択します（この操作にはアクセス権が必要です）。名前を変更し、「**保存**」をクリックして操作を確定します。



Name	Devices	Operators	Apps
Allxon DMS Training	6	5	14

③ グループ削除

「…」メニューをクリックし、「**グループ削除**」を選択します（この操作にはアクセス権が必要です）。この操作の実行は、そのグループに**デバイス**、**ユーザー**、**アプリケーション**が接続していない場合に限られます。



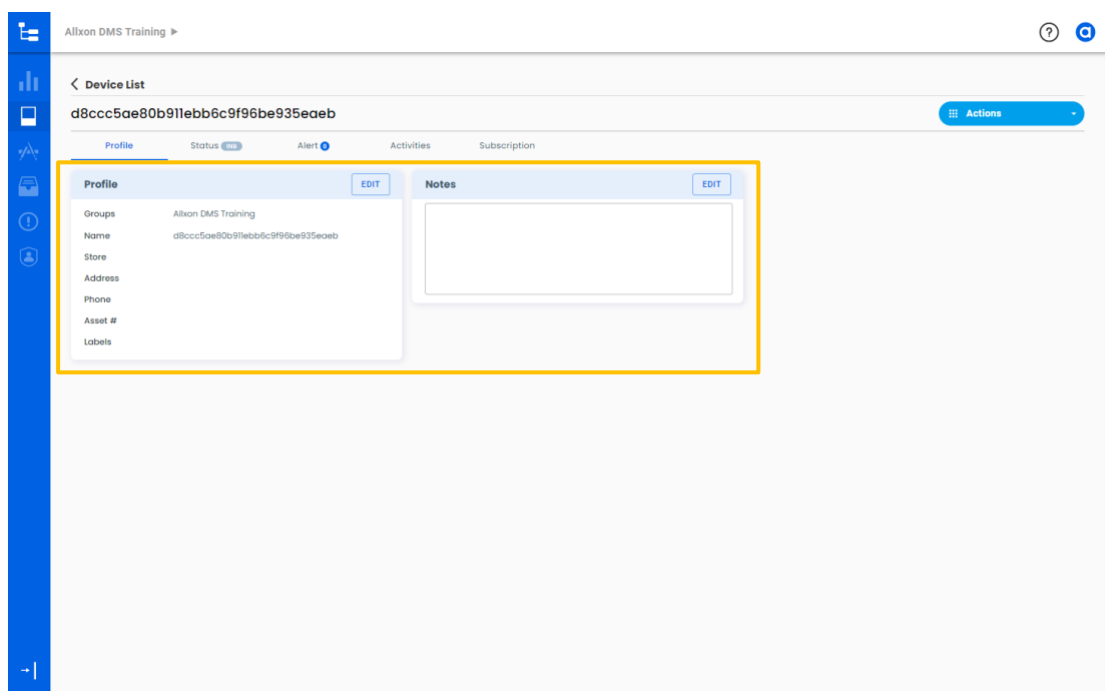
Name	Devices	Operators	Apps
Allxon DMS Training	3	4	15
Jetson	1	0	6
Nano	0	0	0
TX2	1	0	1

6.4 デバイス

「**デバイス**」ページは、デバイスの管理・監視・制御の中枢です。すべてのデバイスがそのデバイス名、状態、シリアル番号、プラットフォーム、登録、およびグループの詳細とともに一覧表示されます（デバイスの追加方法は「[4. エッジデバイスの追加](#)」を参照してください）。

6.4.1 デバイスプロフィールページ

Allxon DMS ポータルから取得できる各デバイスの詳細なレポートは、運用のあらゆる側面の監視や管理に役立ちます。「**デバイスプロフィール**」ページを開くには、デバイスの「**名前**」をクリックします。このページには、基本情報、状態、設定、アクティビティ、接続ログ、Allxon plugin によるユーザー独自の機能設計が表示されます。さらに、「**備考**」セクションを利用して補足情報を追加することもできます。



「**デバイスプロフィール**」ページでは、デバイスに関する必要な情報がすべて網羅されていますが、「**編集**」ボタンを使用すればデバイスの名前、登録の詳細、デバイス設定、備考などの基本情報を編集することもできます。

注意

「ポリシー」>「拡張」でコマンドを入力することにより、1つのグループ内のすべてのデバイスに設定を適用することも可能です。詳細は「[6.6 ポリシー](#)」を参照してください。

「**デバイスプロファイル**」ページの「**状態**」セクションには、使用状況、デバイスのアップタイム/ダウンタイム、さらにはシステム温度（華氏表示と摂氏表示の切り替えが可能）などの重要情報が表示されます。

The screenshot displays the 'Device List' page in the Allxon DMS Training interface. The device ID is `d8ccc5ae80b911ebb6c9f96be935eae8b`. The 'Device' section is highlighted with a yellow box and contains the following information:

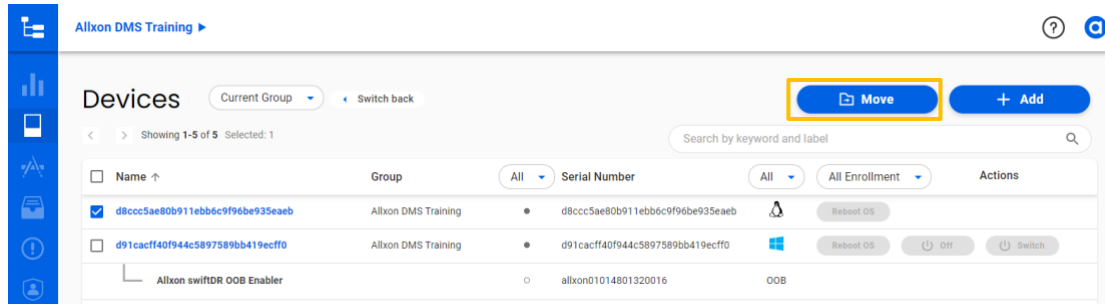
Hardware	System	Networks	USB	Agent
Model	NVIDIA Jetson Xavier NX Developer Kit			
Serial Number	d8ccc5ae80b911ebb6c9f96be935eae8b			
Type	PC			
CPU	ARMv8 Processor rev 0 (v8l)			
Memory	7.58 GB			
Storage	14.68 GB			
OS	Linux Ubuntu 18.04.5 LTS			

The 'Connectivity Log' section shows a graph for '2021 Apr 29'. The graph has two y-axis categories: 'Online' and 'Offline'. The x-axis represents time from 00 to 23. A green line indicates the device was 'Offline' from 00:00 to approximately 13:00, and then became 'Online'.

6.4.2 リモートデバイス管理

① デバイス移動

デバイスをグループに移動して整理します。「デバイス」ページで、**チェックボックス**をクリックしてデバイスを**選択**し、「**移動**」をクリックします。



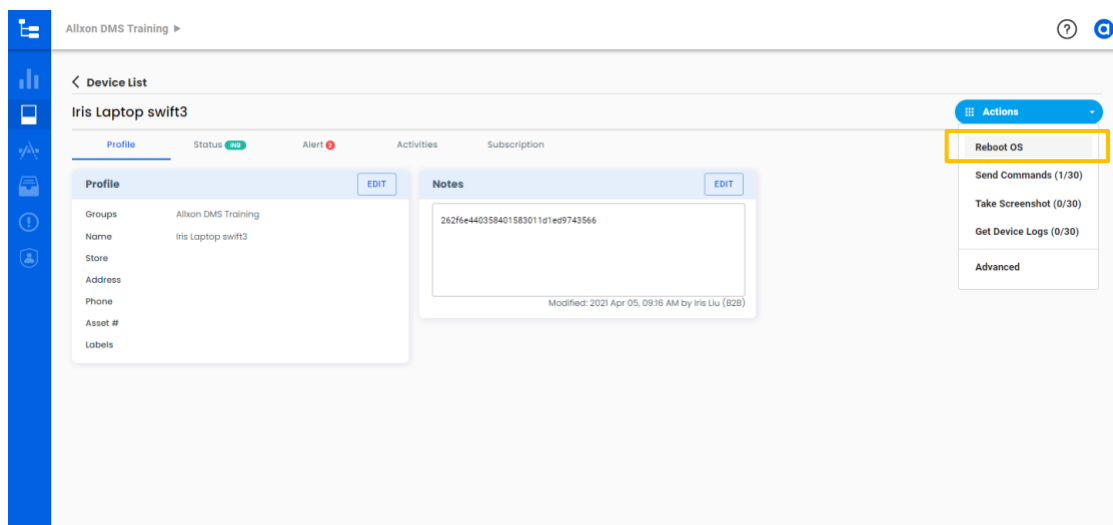
「**グループ選択**」画面で、移動先のグループを選択し、「**移動**」をクリックします。

② OS 再起動

Allxon DMS を使用すると、デバイスのリモート再起動を簡単に行えます。「**デバイスプロファイル**」ページの「...」メニューをクリックし、「**OS 再起動**」を選択して手動で再起動できるほか、「[6.6 ポリシー](#)」の手順に従ってデバイスの再起動時間を設定することも可能です。

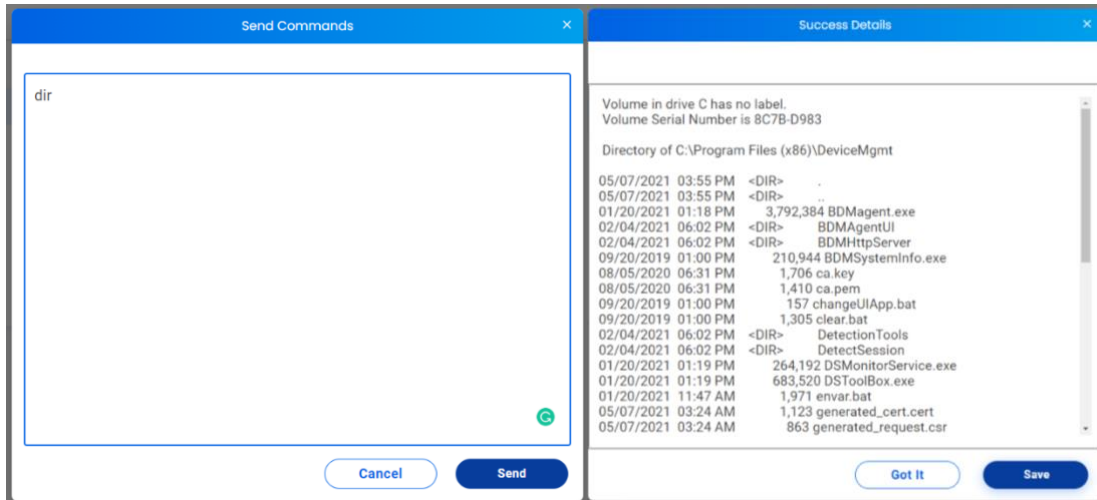
注意

デバイスを最適な状態で稼働させ続けるために、定期的な再起動をお勧めします。



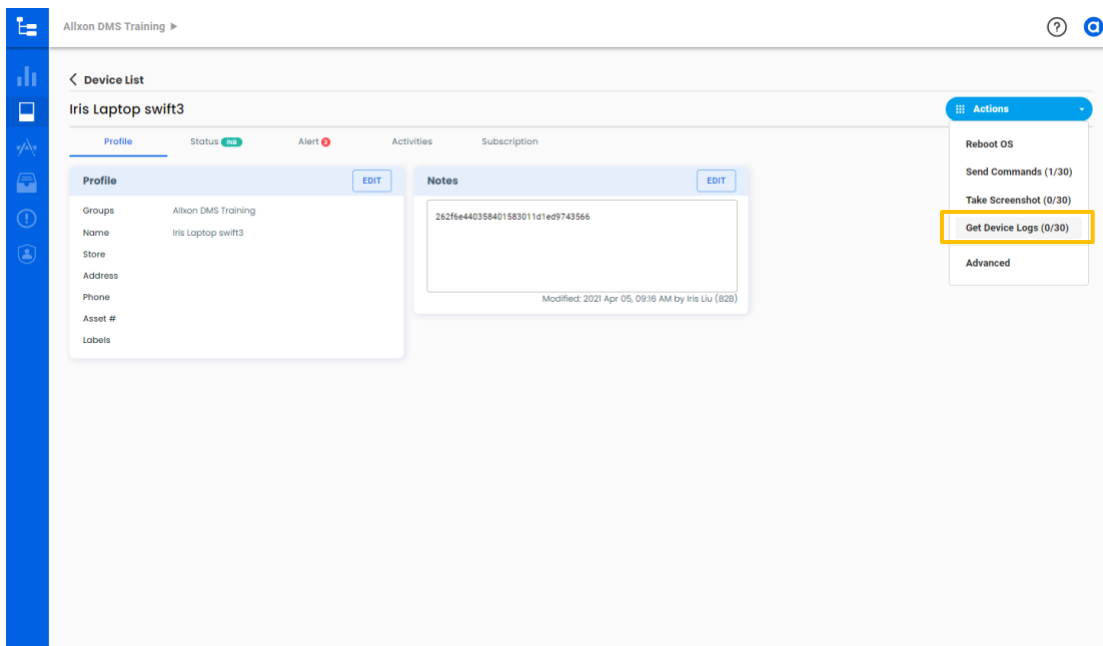
③ コマンド送信

「デバイスプロファイル」ページの「...」メニューをクリックし、「コマンド送信」を選択し、各コマンドのコードを入力します。コマンドを送信すると、「コマンド応答詳細」画面に操作の実行状況が表示されます。結果を確認するには「詳細確認」をクリックします。




④ デバイスログ取得

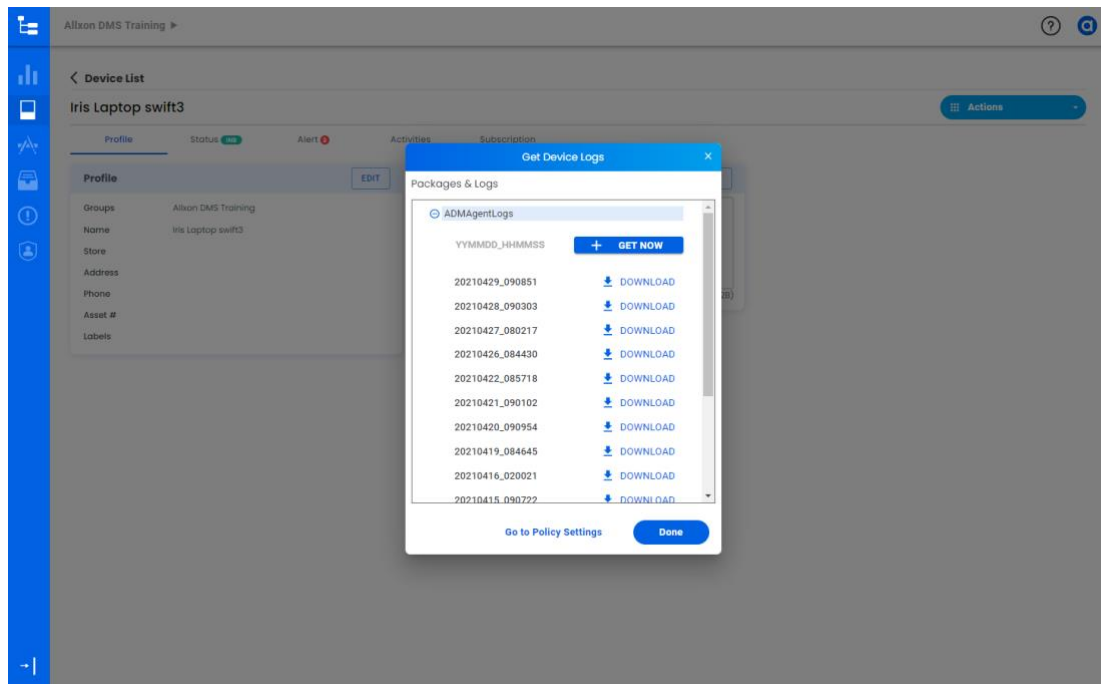
「デバイスプロファイル」ページでは、デバイスログをダウンロードすることもできます。「...」メニューをクリックし、「デバイスログ取得」を選択します。



直近90日分のデバイスログをダウンロードできます。また、「ログリスト」画面で「デバイスログ取得」をクリックして、エージェントにログ収集を直ちに開始させることもできます。ログパッケージ名を選択し、「実行」をクリックします。コマンドの送信後、すぐにデバイスログをダウンロードできるようになります。

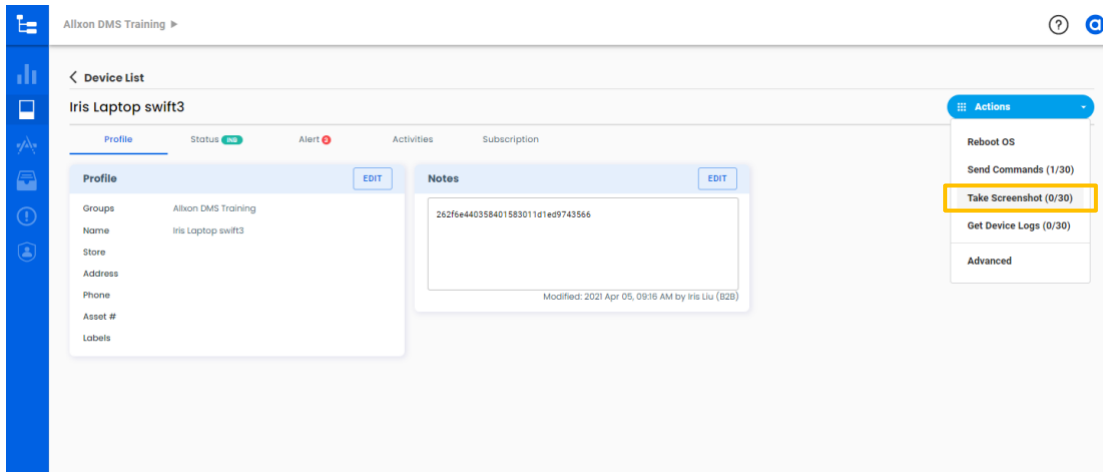
 注意

ログを定期的に収集するようにエージェントを設定することも可能です。[ポリシー > 6.6.2 ログ収集設定](#)を参照してください。

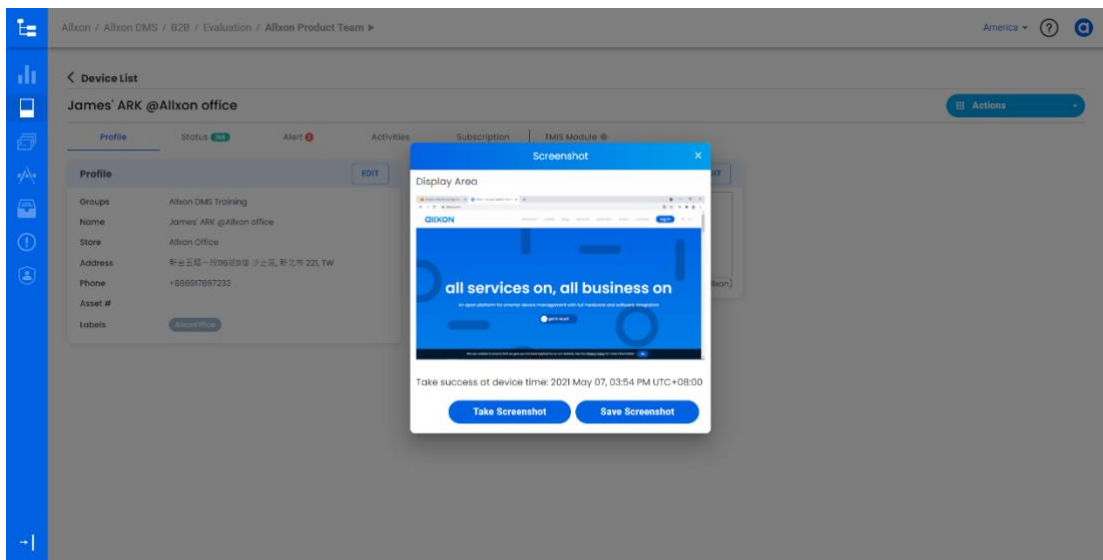


5 スクリーンショット

「スクリーンショット」ボタンを使用すると、画面の表示をリアルタイムにリモート監視できます。スクリーンショットを撮ることにより、顧客の視点から画面上の情報が正しいかどうかを確認できます。「デバイスプロファイル」ページの「...」メニューをクリックし、「スクリーンショット」を選択します。



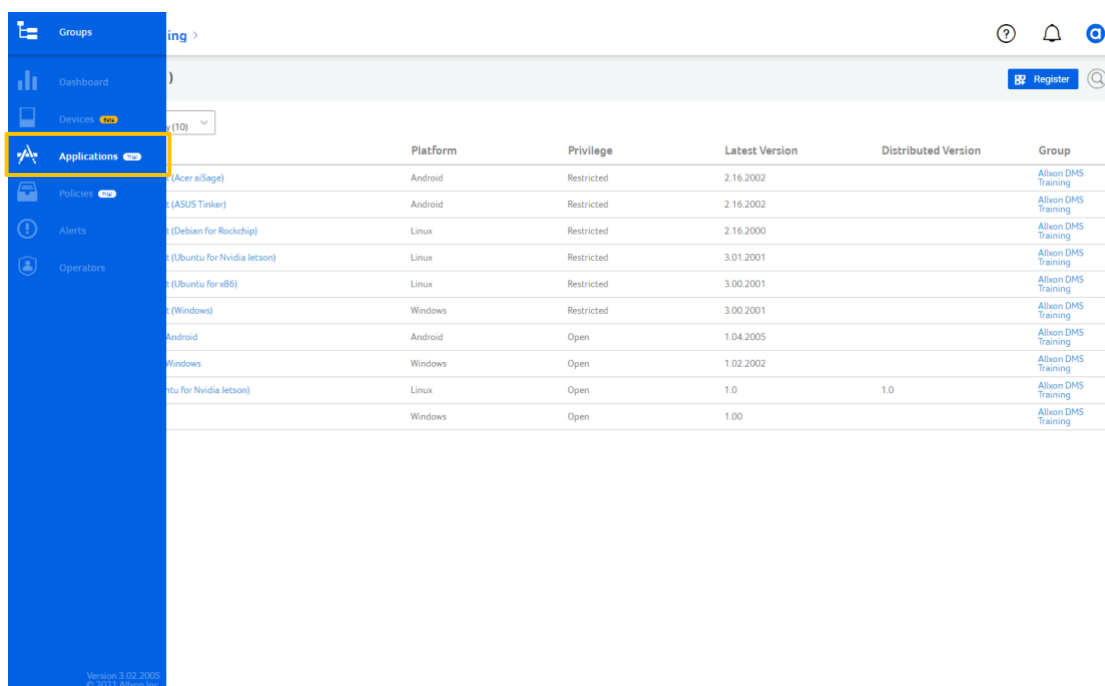
「保存」をクリックして画像ファイルを保存するか、「スクリーンショット」をクリックしてさらにスクリーンショットを撮ります。エラーが発生した場合は、時間を置いて再度実行してください。



6.5 アプリケーション

「アプリケーション」ページは、有用なアプリケーションの作成、管理、ポータル上のグループへの配布に役立ちます。Windows インストーラ、Linux、Android のインストール/アンインストールコマンドとログパスを設定することにより、新規または既存のアプリケーションの登録や更新が行えます。アクセス権がある場合は、アプリケーションの削除も可能です。

「アプリケーション」ページを開くには、「アプリケーション」アイコンをクリックします。



	Platform	Privilege	Latest Version	Distributed Version	Group
(Acer aSage)	Android	Restricted	2.16.2002		Alixon DMS Training
(ASUS Tinker)	Android	Restricted	2.16.2002		Alixon DMS Training
(Debian for Rockchip)	Linux	Restricted	2.16.2000		Alixon DMS Training
(Ubuntu for Nvidia Jetson)	Linux	Restricted	3.01.2001		Alixon DMS Training
(Ubuntu for x86)	Linux	Restricted	3.00.2001		Alixon DMS Training
(Windows)	Windows	Restricted	3.00.2001		Alixon DMS Training
Android	Android	Open	1.04.2005		Alixon DMS Training
Windows	Windows	Open	1.02.2002		Alixon DMS Training
Ubuntu for Nvidia Jetson)	Linux	Open	1.0	1.0	Alixon DMS Training
	Windows	Open	1.00		Alixon DMS Training

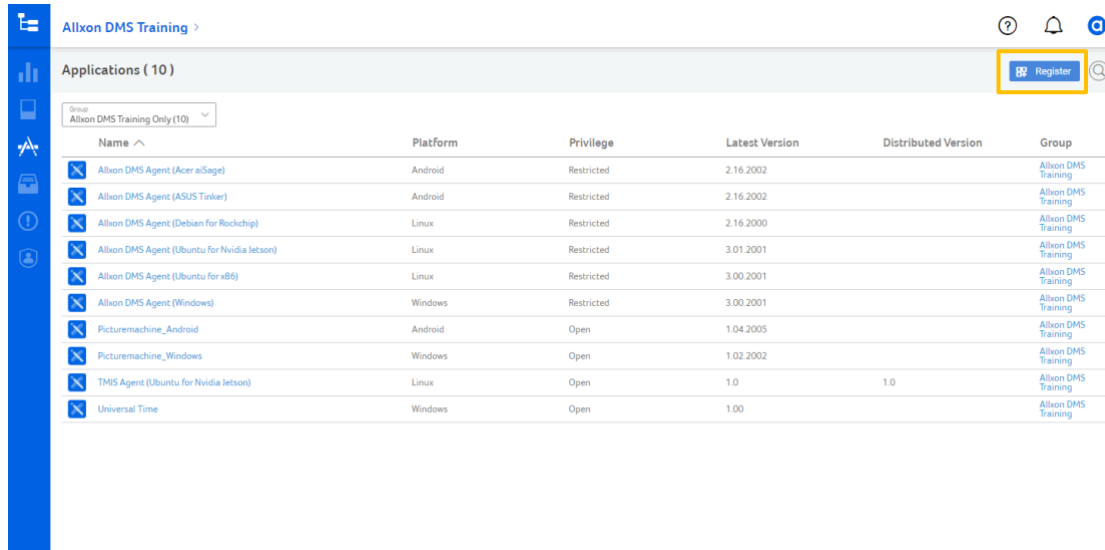
6.5.1 アプリケーションの登録

登録できるアプリケーションは、**既存アプリケーション**または**新規アプリケーション**の2種類です。

注意

アプリケーションを登録するには、「既存アプリ登録」や「オープンアプリ登録」の役割が必要です。

アプリケーションを登録するには、「登録」をクリックします。



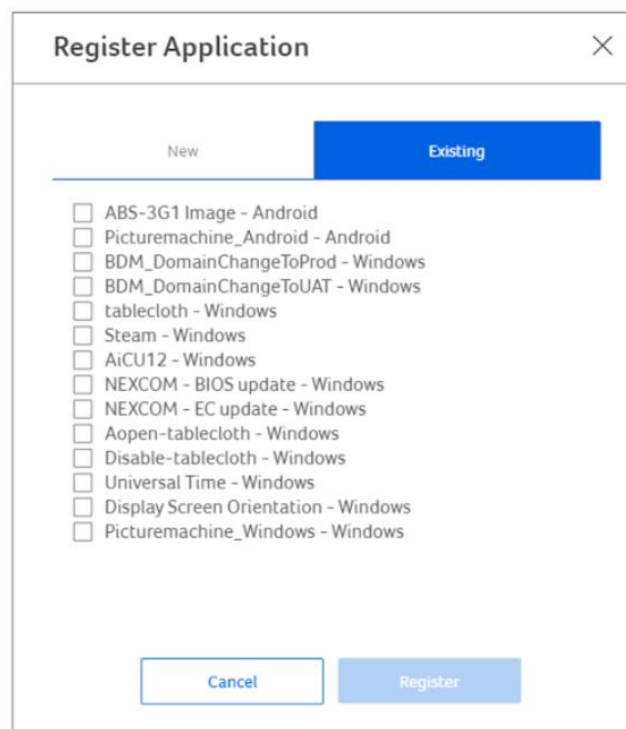
Applications (10)

Group: Allxon DMS Training Only (10)

Name ^	Platform	Privilege	Latest Version	Distributed Version	Group
<input checked="" type="checkbox"/> Allxon DMS Agent (Acer aSage)	Android	Restricted	2.16.2002		Allxon DMS Training
<input checked="" type="checkbox"/> Allxon DMS Agent (ASUS Tinker)	Android	Restricted	2.16.2002		Allxon DMS Training
<input checked="" type="checkbox"/> Allxon DMS Agent (Debian for Rockchip)	Linux	Restricted	2.16.2000		Allxon DMS Training
<input checked="" type="checkbox"/> Allxon DMS Agent (Ubuntu for Nvidia Jetson)	Linux	Restricted	3.01.2001		Allxon DMS Training
<input checked="" type="checkbox"/> Allxon DMS Agent (Ubuntu for x86)	Linux	Restricted	3.00.2001		Allxon DMS Training
<input checked="" type="checkbox"/> Allxon DMS Agent (Windows)	Windows	Restricted	3.00.2001		Allxon DMS Training
<input checked="" type="checkbox"/> Picturemachine_Android	Android	Open	1.04.2005		Allxon DMS Training
<input checked="" type="checkbox"/> Picturemachine_Windows	Windows	Open	1.02.2002		Allxon DMS Training
<input checked="" type="checkbox"/> TMS Agent (Ubuntu for Nvidia Jetson)	Linux	Open	1.0	1.0	Allxon DMS Training
<input checked="" type="checkbox"/> Universal Time	Windows	Open	1.00		Allxon DMS Training

① 既存アプリケーション

親グループに、登録可能な既存アプリケーションのリストが表示されます。「既存」タブでアプリケーションを選択し、「登録」をクリックします。選択したアプリケーションが「アプリケーション」ページのリストに表示されます。



Register Application

New Existing

- ABS-3G1 Image - Android
- Picturemachine_Android - Android
- BDM_DomainChangeToProd - Windows
- BDM_DomainChangeToUAT - Windows
- tablecloth - Windows
- Steam - Windows
- AiCU12 - Windows
- NEXCOM - BIOS update - Windows
- NEXCOM - EC update - Windows
- Aopen-tablecloth - Windows
- Disable-tablecloth - Windows
- Universal Time - Windows
- Display Screen Orientation - Windows
- Picturemachine_Windows - Windows

Cancel Register

② 新規アプリケーション

新規アプリケーションを登録するには、まずアプリケーションの GUID を取得する必要があります。アプリケーションの GUID とパッケージ名は、3 つの主要プラットフォーム (**Windows**、**Linux**、**Android**) で異なります。

方法1

アプリケーションプロバイダーから、GUID とパッケージ名を入手します。

方法2

プロバイダーから GUID とパッケージ名を取得できない場合は、以下の手順に従って手動で情報を取得できます。まず、デバイスにアプリケーションをインストールし、プラットフォームごとの手順に従います。

☑ Windows

エッジデバイス上で GUID を確認できない場合、シンボリック名 (例: Allxon_DMS_Application_GUID) を使用してアプリケーション GUID をユーザー定義できます。

☑ Linux

次のコマンドを使用して、キーワードに一致するアプリケーションの一覧を表示します。これは、アプリケーションのパッケージ名の確認に役立ちます。

キーワードに一致するアプリケーションの一覧を表示。

```
dpkg -l | grep <キーワード>
```

☑ Android

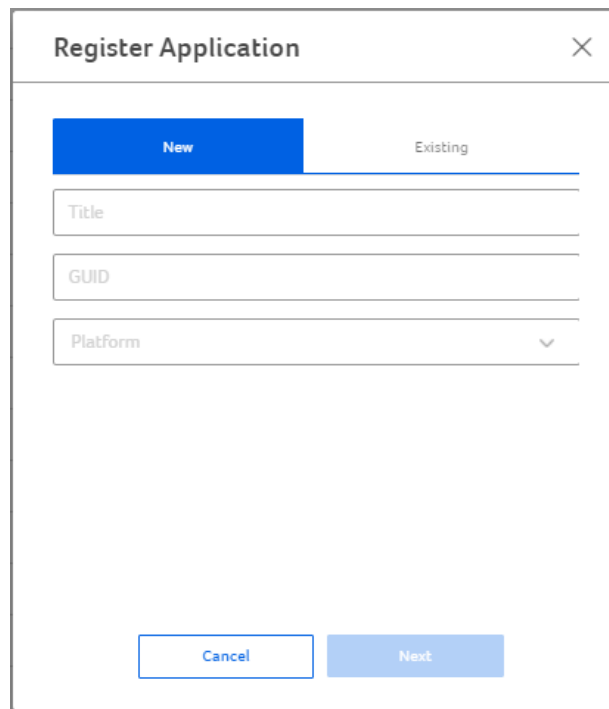
デバイスの**ファイルエクスプローラ**を開き、**パス**をたどってアプリケーションのパッケージ名を確認します。

Internal Storage > Android > data

③ 新規アプリケーションの登録

取得したアプリケーションの GUID とパッケージ名を使用して、新規アプリケーションを登録できます。「アプリケーション登録」画面の「新規」タブに以下の情報を入力します。

- アプリケーション名
- アプリケーション GUID
- プラットフォーム



The screenshot shows a dialog box titled "Register Application" with a close button (X) in the top right corner. Below the title bar, there are two tabs: "New" (which is selected and highlighted in blue) and "Existing". Under the "New" tab, there are three input fields: "Title", "GUID", and "Platform" (a dropdown menu with a downward arrow). At the bottom of the dialog, there are two buttons: "Cancel" and "Next".

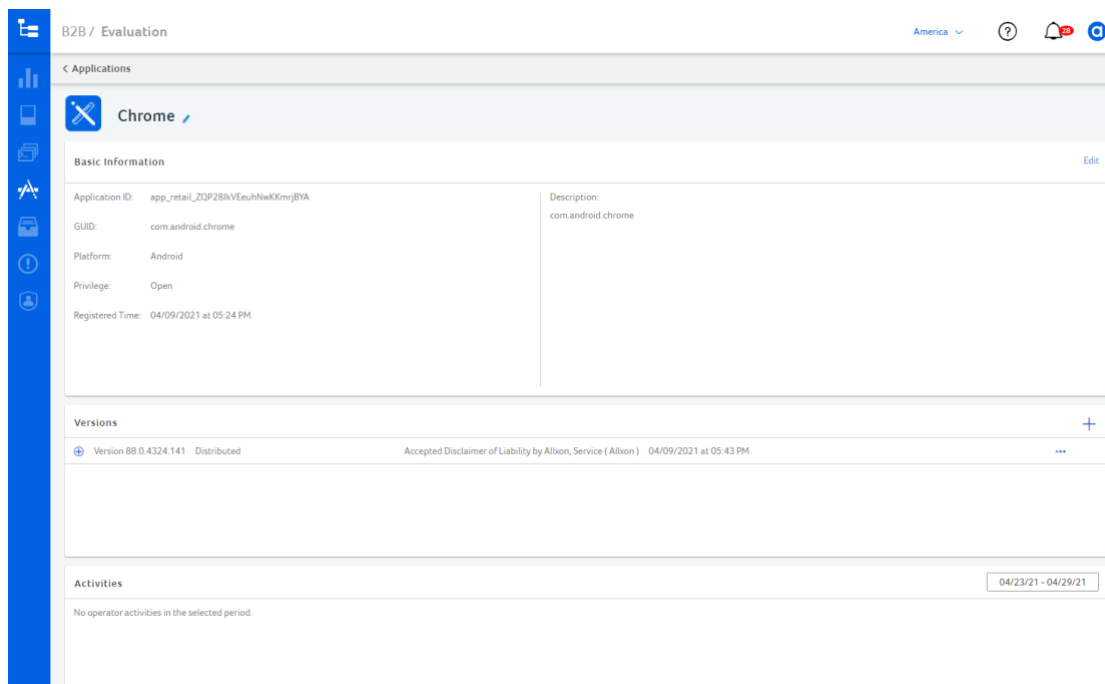
入力したら「次へ」をクリックします。

新規アプリケーションが登録されると、「アプリケーション」ページのリストに表示され、すべての子グループで既存アプリケーションとして登録できるようになります。さらに、アプリケーションの新バージョンの作成とリリースも可能になります。詳細は「[6.5.3 アプリケーションバージョン](#)」を参照してください。

6.5.2 アプリケーションプロファイルページ

「アプリケーションプロファイル」ページでは、アプリケーションとその最新バージョンやアクティビティに関する必要な基本情報を入手できます。

「アプリケーションプロファイル」ページを開くには、「アプリケーション」ページのリストでアプリケーション名をクリックします。



アクセス権がある場合、アプリケーションのタイトルと基本情報を編集できます。「編集」をクリックし、編集を行った後、「保存」をクリックして変更内容を保存するか、「キャンセル」をクリックして元の情報に戻します。アプリケーションに対する変更はすべて「アクティビティ」セクションに記録されます。

6.5.3 アプリケーションバージョン

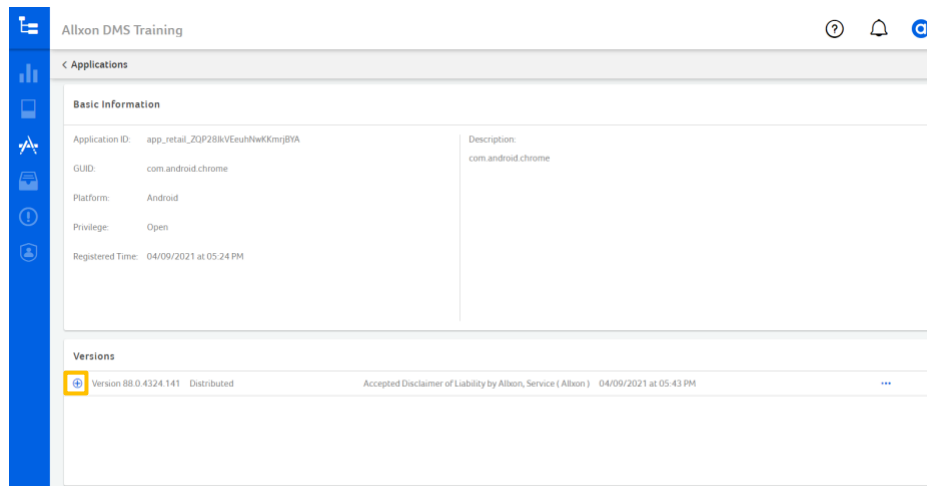
アプリケーションの登録が完了すると、新しいアプリケーションバージョンを作成できるようになります。「バージョン」セクションでは、ポータル用に新しいアプリケーションバージョンの作成、リリース、配布が行えます。

新しいアプリケーションバージョンを作成するまでは、「バージョン」セクションには何も表示されません。

アプリケーションバージョンの作成



ポータル用に新しいアプリケーションバージョンを作成するには、「+」ボタンをクリックします。



● 作成

アプリケーション **GUID** に基づいて、新しいアプリケーションバージョンを作成します。

Windows アプリケーション

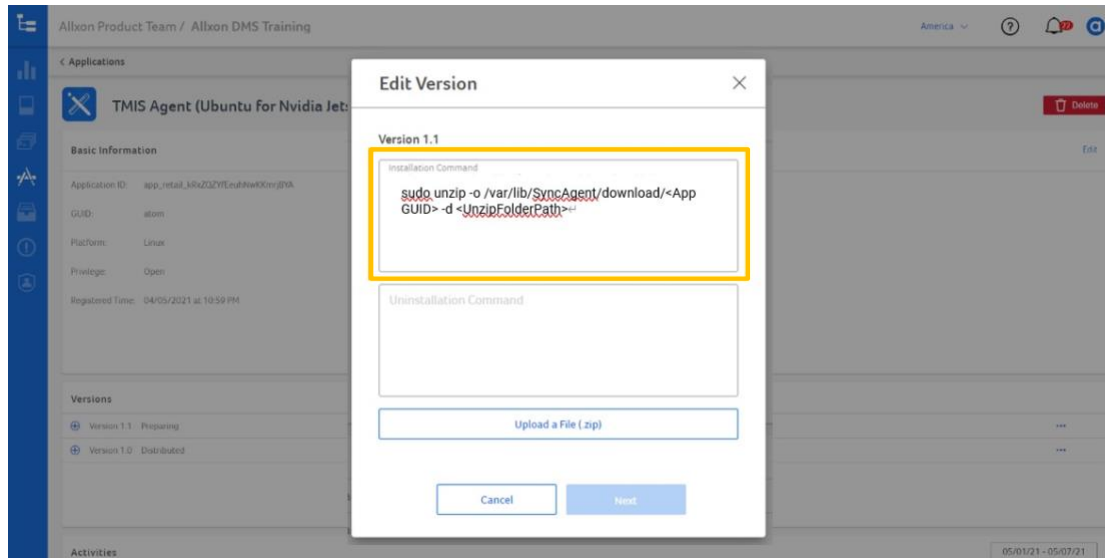
- 「+」をクリックし、バージョン番号、インストールコマンド、アンインストールコマンドを入力します。
- 「ファイルアップロード」をクリックし、zip ファイルを選択します。

Linux アプリケーション

Linux アプリケーションを**作成**するには、インストールコマンドの先頭に以下のコマンドを追加します。

```
sudo unzip -o /var/lib/SyncAgent/download/<App GUID> -d <UnzipFolderPath>
```

- App GUID: ポータル上のアプリ名をユーザー定義できます。
- UnzipFolderPath: ファイルの展開先フォルダのパスを指定します。



☑ Android アプリケーション

● インストールコマンド

インストール後にアプリケーションを起動するには、以下のサンプルコマンドおよびフォーマットに従います。

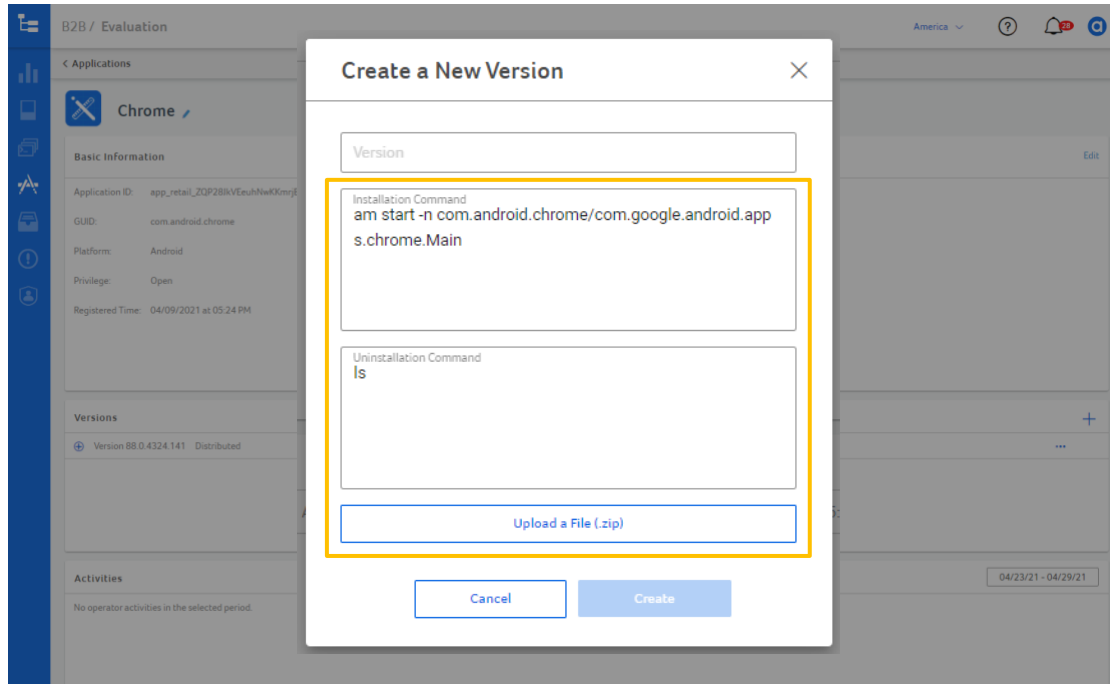
なお、このフィールドはオプションです。コマンドを指定しない場合、事前にアップロードした zip ファイルに格納された APK ファイルを使用して自動的にインストールが始まります。

```
am start <パッケージ名>/<クラス名>
```

● アンインストールコマンド

以下のサンプルコマンドおよびフォーマットに従います。

```
pm uninstall <パッケージ名>
```



ファイルを選択し、「**作成**」をクリックするとアップロードが開始します。中止するには、「**キャンセル**」または「**X**」をクリックします。

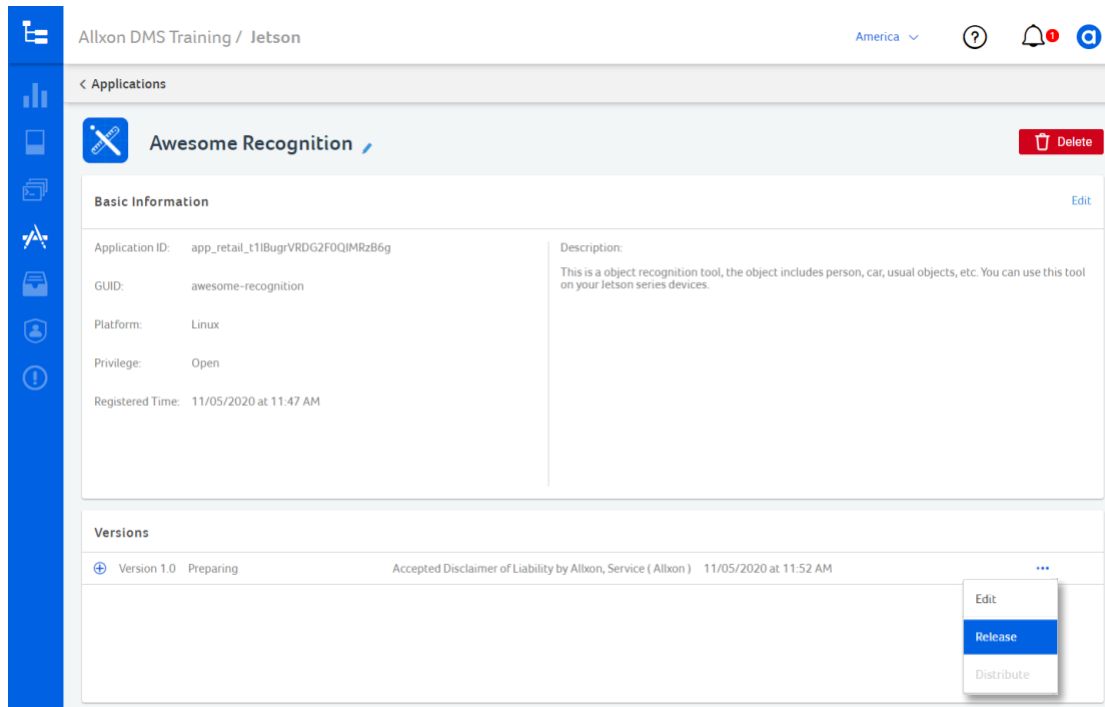
注意：「**キャンセル**」または「**X**」をクリックした場合、変更内容は保存されません。

アップロードが始まると、アップロードの進捗を示すプログレスバーがファイル名とアップロード完了率とともに表示されます。アップロードをキャンセルしたい場合は、「**X**」をクリックします。1つ前の画面に戻ります。

WN10_V2.12.2003.zip Uploading (97.15%)

● リリース

ファイルのアップロードが完了すると、新しいアプリケーションバージョンをリリースできるようになります。バージョンをリリースするには、「**リリース**」をクリックします。リリース前に説明を**編集**することもできます。



● 配布

アプリケーションバージョンをリリースすると、グループに新しいバージョンを配布できるようになります。

「配布」をクリックし、配布先のグループを選択します。チェックボックスを使用してグループを選択し、「配布」をクリックします。また、アプリケーションを指定した時間に配布するように、配布スケジュールを設定することもできます。

💡 注意

アプリケーションバージョンを配布するには、適切な役割とアクセス権が必要です。いったん新しいアプリケーションバージョンの「Allxon エージェント」を配布すると、ユーザーが以前のバージョンに戻すことはできません。以前のバージョンにロールバックしたい場合は、Allxon にお問い合わせください。

Allxon DMS Training

< Applications

Chrome Delete

Basic Information

Application ID: app_retail_ZQP28lkVEuhNwKkmrjBYA Description: com.android.chrome

GUID: com.android.chrome

Platform: Android

Privilege: Open

Registered Time: 04/09/2021 at 05:24 PM

Versions

Version	Platform	Accepted Disclaimer of Liability by Allxon, Service (Allxon)	Date	View
88.0.4324.141	Distributed	Accepted Disclaimer of Liability by Allxon, Service (Allxon)	04/09/2021 at 05:43 PM	Distribute

「バージョン」セクションに、アプリケーションバージョンの編集履歴が追加されます。アプリケーションバージョンが**作成、編集、リリース**、または**配布**されたことを示すすべてのアクティビティがアクティビティログに記録されます。

Versions +

Version 88.0.4324.141 Distributed Accepted Disclaimer of Liability by Allxon, Service (Allxon) 04/09/2021 at 05:43 PM

Activity	User	Date
Distributed (Details)	james7800243+service@gmail.com	04/13/2021 at 07:10 PM
Distributed (Details)	james7800243+service@gmail.com	04/13/2021 at 06:19 PM
Distributed (Details)	james7800243+service@gmail.com	04/09/2021 at 06:05 PM
Distributed (Details)	james7800243+service@gmail.com	04/09/2021 at 05:52 PM
Released	james7800243+service@gmail.com	04/09/2021 at 05:51 PM
Created	james7800243+service@gmail.com	04/09/2021 at 05:43 PM

6.5.4 アプリケーションの削除

アクセス権を持つユーザーは、「**アプリケーションプロファイル**」ページからアプリケーションを削除できます。ただし、他のグループに配布中のアプリケーションは削除できません。アプリケーションがどのグループにも配布されていない場合にのみ「**削除**」ボタンが表示され、Allxon DMS ポータルからアプリケーションを完全に削除できます。

Allxon DMS Training

< Applications

Chrome Delete

Basic Information

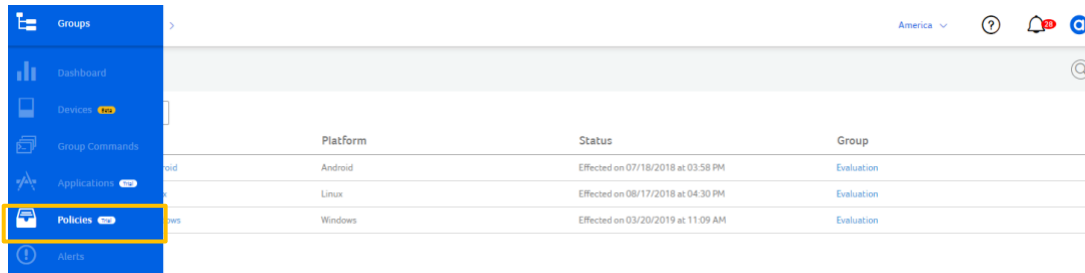
Application ID: app_retail_ZQP28lkVEuhNwKkmrjBYA Description: com.android.chrome

GUID: com.android.chrome

6.6 ポリシー

各種設定のポリシーを利用すると、アプリケーションの管理と監視の改善に役立ちます。

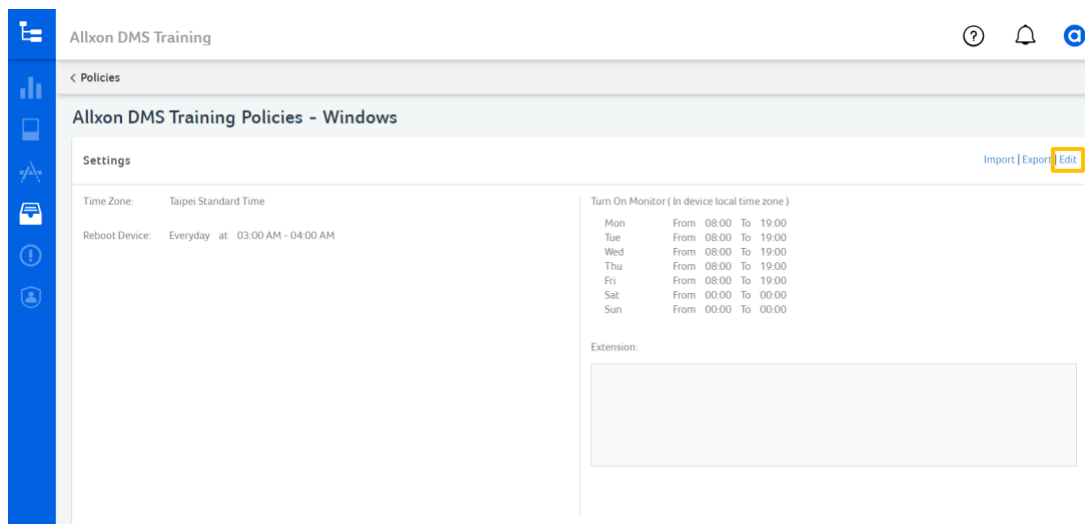
「**ポリシー**」ページを開くには、「**ポリシー**」アイコンをクリックします。



「**ポリシー**」ページには、ポリシーがそれぞれの**プラットフォーム**、**状態**、所属**グループ**とともに一覧表示されます。**状態**はポリシーが適用された日時です。

「**ポリシー名**」をクリックすると、「**ポリシープロファイル**」ページが開きます。

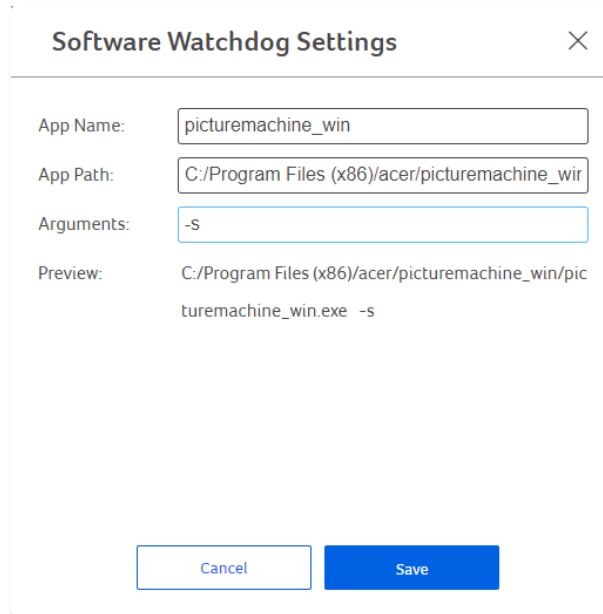
「**ポリシープロファイル**」ページでは、ポリシー**設定**を**編集**できます。「**編集**」をクリックすると、必要に応じてデバイスを再起動する時間を変更できます。「**保存**」をクリックすると変更が適用され、編集モードが終了します。



また、ポリシー拡張編集セクションで、コマンドの編集やデバイスへの割り当てを行うこともできます（**Windows Update** の無効化など）。「**保存**」をクリックすると変更が適用され、グループで新しいポリシー設定を使用できるようになります。

☑ Windows / Linux

- 「+」をクリックします。
- アプリ名（アプリケーションの名前）、アプリパス（デバイス上のアプリケーションの有効なファイルパス）を入力します。
- 「保存」をクリックして変更を保存します。



Software Watchdog Settings

App Name:

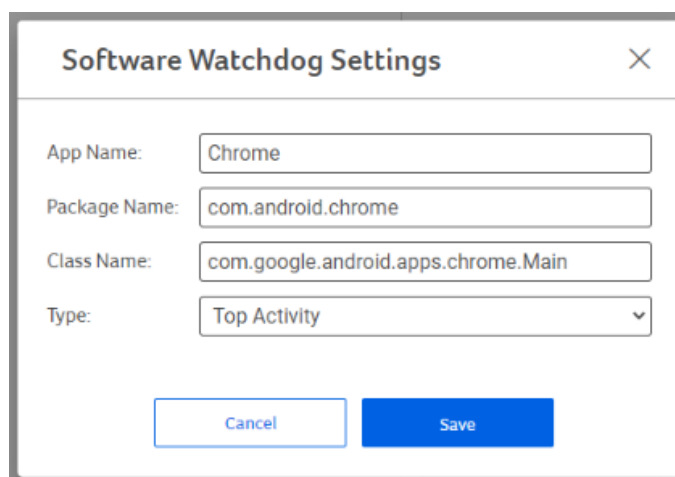
App Path:

Arguments:

Preview: C:/Program Files (x86)/acer/picturemachine_win/picturemachine_win.exe -s

☑ Android

- 「+」をクリックします。
- **アプリ名**（アプリケーションの名前）、**パッケージ名**（アプリケーションプロバイダーの指定）、**クラス名**（アプリケーションプロバイダーの指定）、**タイプ**（**Top Activity**、**Activity**、**Service** から選択）を入力します。
- 「保存」をクリックして変更を保存します。



Software Watchdog Settings

App Name:

Package Name:

Class Name:

Type:

6.6.2 ログ収集設定

コマンドを送信して、エージェントにログ収集を開始させることができます。コマンドを正しく機能させるには、ログパスを正しいフォーマットで指定する必要があります。最大 5 つのログ設定（それぞれ 8 つのログパスを設定可能）を作成し、エージェントに定期的にログを収集させることができるほか、手動によるログ収集も可能です。

Upload Log Settings				+
AgentLogs	Everyday at 03:00 AM	by James Chou@OpenApp (Application Verification)	03/16/2020 at 04:53 PM	...
Log Path				
%localappdata%\DeviceMgmt\BDMagent\logs				
%localappdata%\BDMagent\log				

新しいログ収集設定を**追加**するには、「+」をクリックします。

以下の情報を入力する必要があります。

- 定期的にログを収集するスケジュール（任意）

注意

定期スケジュールを設定しない場合、エージェントによる定期的な収集は行われません。ただし、「[デバイスプロファイル](#)」ページの「[デバイスログ取得](#)」を使用してデバイスログを直接収集することは可能です（「[6.4.2 リモートデバイス管理](#)」の「[デバイスログ取得](#)」セクションを参照してください）。

- ログパッケージ名（必須）
- ログパス（1 つ以上必須）
- 「**保存**」をクリックして変更を保存します。

Upload Log Settings
×

Collect Log
 Everyday
03:00 AM

Log Package Name:

Log Path:

%localappdata%\DeviceMgmt\BDMagent\logs

%localappdata%\BDMagent\log

Save

Cancel

6.6.3 USB キーボード及びマウスロック設定

Allxon DMS の USB キーボードおよび USB マウスロック機能は、USB キーボードや USB マウスの接続によるハッカーの侵入を防止する強力なセキュリティ機能です。

USB Keyboard & Mouse Lock Settings (Disable) ⚙
Unlock Dialog Display Interval (Sec): 300
Function Unlock Period (Min): 60

① デバイスを保護するには、**設定**（歯車）アイコンをクリックして「**USB キーボード及びマウスロック設定**」画面を開き、この機能を**有効**にします。

USB Keyboard & Mouse Lock Settings

Disable / Enable:

Password:

Unlock Dialog Display Interval (Sec):

Function Unlock Period (Min):

- **無効/有効**：機能を**無効**または**有効**にします。
- **パスワード**：デバイスでこの機能を解除するときに使用するパスワードを指定します。
- **ロック解除ダイアログの表示間隔（秒）**：セットアップ中にデバイスに「**解除パスワード**」画面を表示する時間を指定します。
- **ロック解除後再度ロックまでの時間（分）**：デバイスのロック解除から再ロックまでの時間を指定します。
- 「**保存**」をクリックして変更を保存します。

② ロック解除の USB デバイスリストセクションで、デバイスにロック解除機能を追加します。

注意

OS に認識されていない USB キーボードまたは USB マウスをこのセクションに追加しても、ロック解除機能は機能しません。

Unlock USB Devices List				+
Mouse	VID_DA34 & PID_4456	by James Chou (Allxon)	05/13/2020 at 03:27 PM	...

「+」をクリックして「**ロック解除デバイスを追加**」画面を開き、以下の情報を入力します。

- **デバイス名**：デバイス名を指定します。
- **PID**：ロック解除 USB デバイスの PID を入力します。
- **VID**：ロック解除 USB デバイスの VID を入力します。

「**保存**」をクリックして変更を保存します。新しいロック解除デバイスが「**ロック解除の USB デバイスリスト**」セクションに表示されます。

Add Unlock Device

Device Name:

PID:

VID:

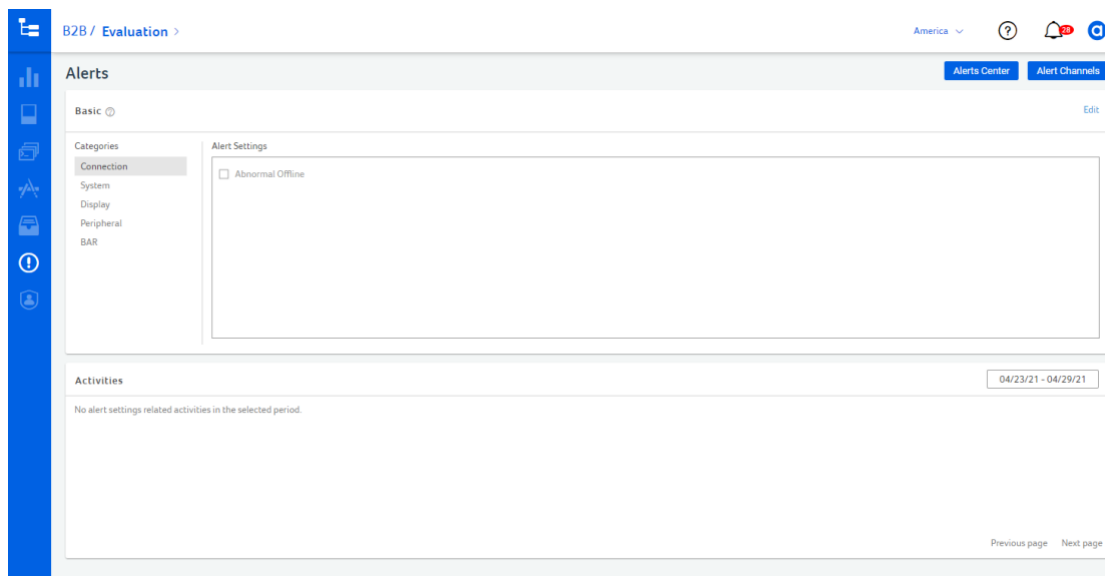
ポリシーに対する変更はすべて、「**ポリシープロファイル**」ページの「**アクティビティ**」セクションに記録されます。

6.7 アラート

リモートデバイス管理では、デバイスの運用を最適な状態に維持するためにデバイスのヘルス状態を常に把握することが重要です。「アラート」ページは、デバイスの接続、システム運用、表示、周辺機器に関する最新情報のリアルタイム更新の設定に役立ちます。

通知は、電子メール（SMTP）、LINE、Webhook 経由で受信するように設定できます。それにはまず、SMTP、LINE、または Webhook の設定を行ってから、ポータル上でアラート項目とアラート受信者を設定する必要があります。

Allxon DMS ポータルの「アラート」アイコンをクリックして、「アラート」ページを開きます。



アラートを設定するには、画面右上隅の「アラートチャンネル」をクリックします。

6.7.1 電子メール（SMTP）の設定

アラートメールを受け取るには、IT 部門から SMTP 情報を入手して、この機能を有効にする必要があります。情報を入力すると、SMTP 設定の動作確認を兼ねて認証コードがメールで送られてきます。

注意

この機能は、Allxon DMS エージェント 2.12 より前のバージョンでは利用できません。

The screenshot shows the 'Alert Channels' configuration page in the Allxon DMS Training interface. The 'Mail (SMTP)' section is active, displaying settings for both Primary and Secondary SMTP configurations. The Primary SMTP configuration is enabled and includes fields for SMTP Client (Internet), SMTP Host (smtp.gmail.com), SMTP Account (james7800243.smtp@gmail.com), SMTP Password, Port (587), Security Type (TLS), and Mail Sender (james7800243.smtp@gmail.com). The Secondary SMTP configuration is disabled and includes fields for SMTP Host, SMTP Account, SMTP Password, Port (25), Security Type (None), and Mail Sender.

SMTP の設定を行うには、「アラートチャンネル」ページで以下の情報を入力する必要があります。


- **SMTP クライアント**：Allxon DMS は、2 種類の SMTP クライアント設定に対応しています。
 - **インターネット**：アラートメールは SMTP サーバー環境の外部から送信されます。
 - **イントラネット**：アラートメールは SMTP サーバー環境の内部から送信されます（企業によっては、外部からの SMTP メールを送信を許可しない厳格な IT ポリシーを実施しています。その場合、Allxon DMS エージェントがアラートメールの送信を支援します）。
- **有効/無効**：機能を有効または無効にします。
- **SMTP ホスト**：ユーザーの SMTP サーバーのドメイン。
- **SMTP アカウント**：ユーザーの SMTP サーバーアカウントのアカウント名。
- **SMTP パスワード**：ユーザーの SMTP サーバーアカウントのパスワード。
- **ポート**：ユーザーの SMTP サーバーのポート。


注意

セキュリティ上の理由と IT ポリシーのため SMTP クライアントがインターネット上で動作している場合、25 番ポートは使用できません。

- **セキュリティ種類**：ユーザーのSMTPサーバーがサポートするセキュリティの種類。現在、Allxon DMS は **TLS** に対応しています。
- **メール送信者**：アラートメールの送信元アドレス。

すべての情報を入力したら、「**保存**」をクリックします。


 **注意**

SMTP の詳細については、 アイコンをクリックしてヘルプを参照してください。


6.7.2 LINE の設定

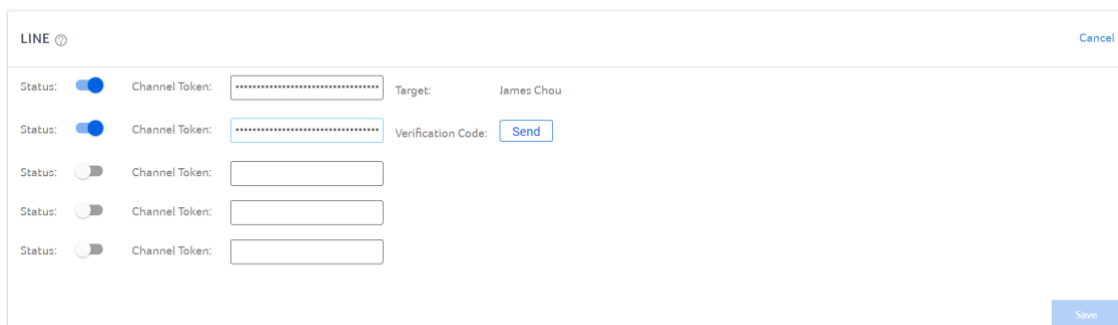
Allxon DMS では、スマートなりモートデバイス管理の能率化とユーザーエクスペリエンス向上のために、アジア地域で最も人気のあるメッセージプラットフォームである LINE との連携により、出先でも簡単にアラートを受け取れるようにしています。

設定するには、「**アラートチャネル**」ページをスクロールして「**LINE**」セクションを表示します。

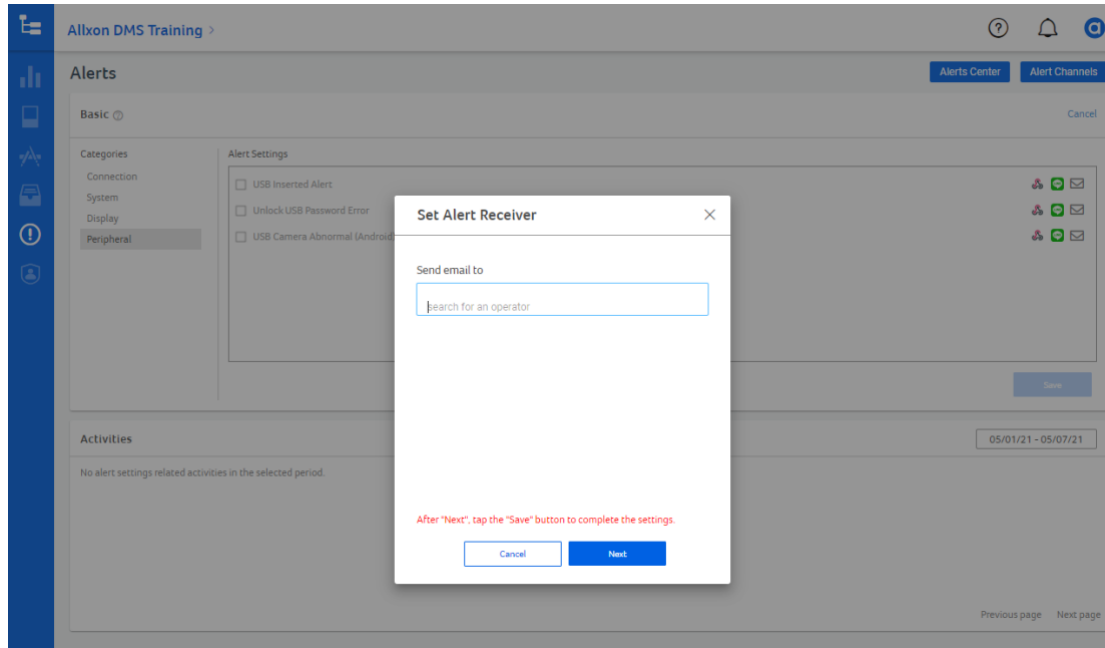
 **注意**

この機能は、Allxon DMS エージェント 2.14 より前のバージョンでは利用できません。

- まず、LINE Web サイトから **LINE チャネルトークン**を取得する必要があります（トークンの取得手順については、 アイコンをクリックしてください）。
- チャネルトークン情報を入力し、機能を**有効**にします。
- 認証プロセスを開始し、トークンの有効性を確認します。
- 認証が完了すると、アラートメッセージの送信先 LINE チャネルを選択できるようになります。



「**保存**」をクリックして設定を保存します。




6.7.3 Webhook の設定

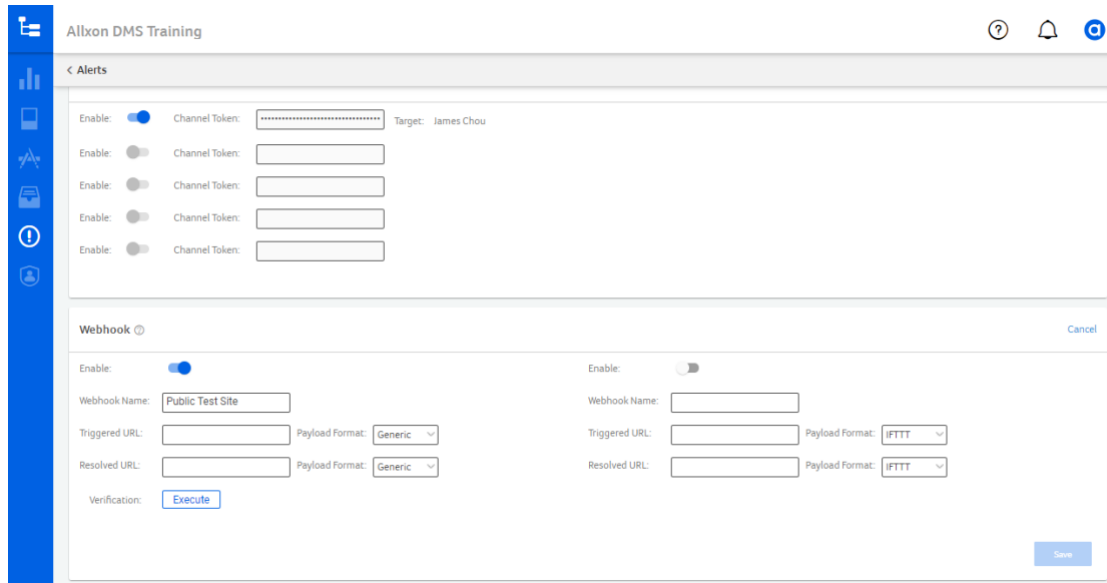
Webhook を設定すると、Allxon DMS ポータルでアラートメッセージを受け取れます。

注意：Webhook は、カスタムリクエストとコールバックによってアプリケーション間の通信を支援します。何らかの新しいイベントが発生した場合に、他のアプリケーションに通知や情報を自動送信するのに役立ちます。

Webhook を設定するには、「アラートチャンネル」ページをスクロールして「Webhook」セクションを表示します。

- 機能を有効にします。
- Webhook 名、トリガーURL、解除URL を入力します（Webhook 名と URL の詳細については、 アイコンをクリックしてヘルプを参照してください）。
- 使用する Webhook サービスを「ジェネリック」と「IFTTT」から選択します。

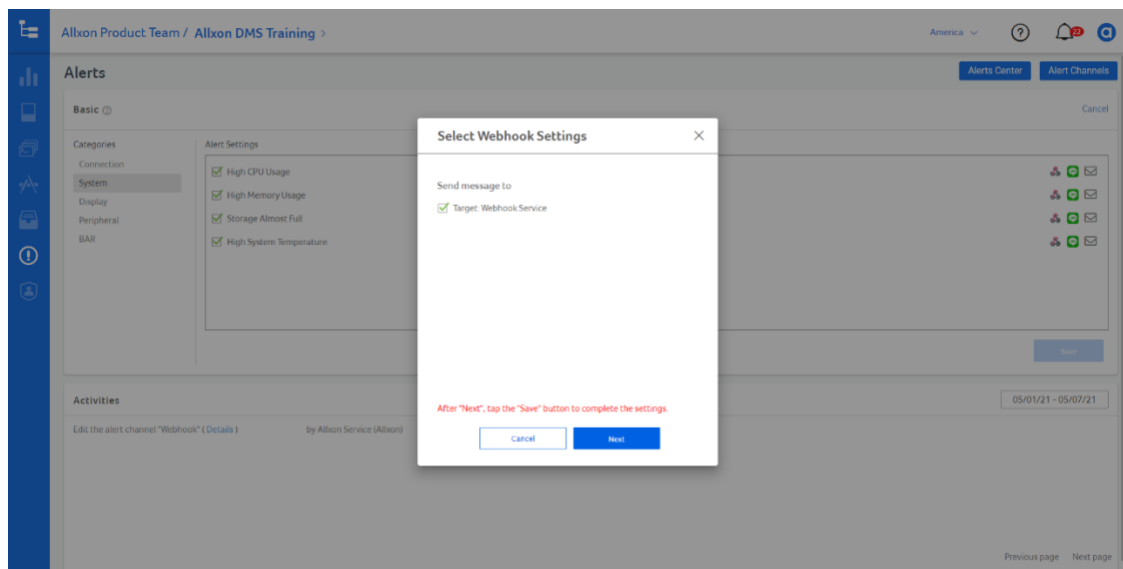
「次へ」をクリックし、「保存」をクリックして設定を保存します。



Webhook サービスとの通信と認証が自動的に行われます。認証が完了すると、アラートメッセージの送信先 **Webhook** サービスを選択できるようになります。

注意

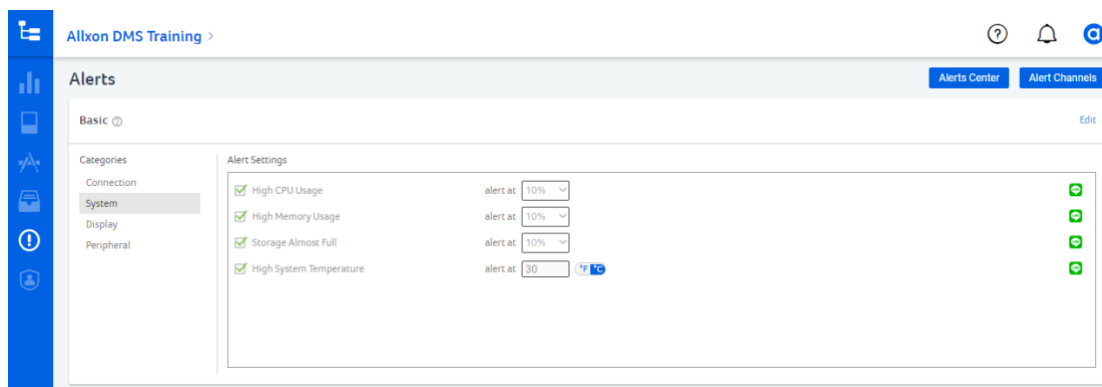
この機能は、Allxon DMS エージェント 2.15 より前のバージョンでは利用できません。



6.7.4 アラート項目とアラート受信者の設定

SMTP、LINE、または Webhook の設定が完了すると、Allxon DMS ポータルでアラート項目とアラート受信者を設定できるようになります。

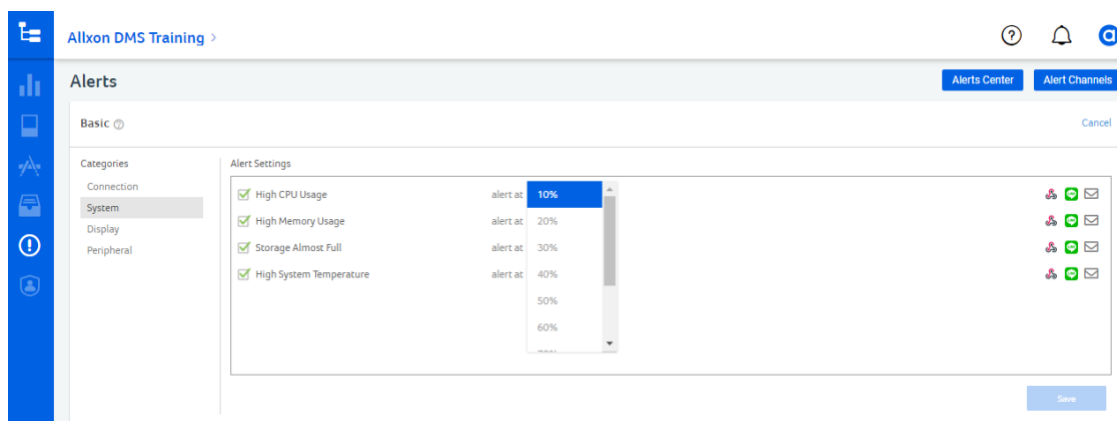
- 「アラート」ページにはさまざまなカテゴリとアラート設定が用意されています。その中から有効にするアラート項目を**選択**します。



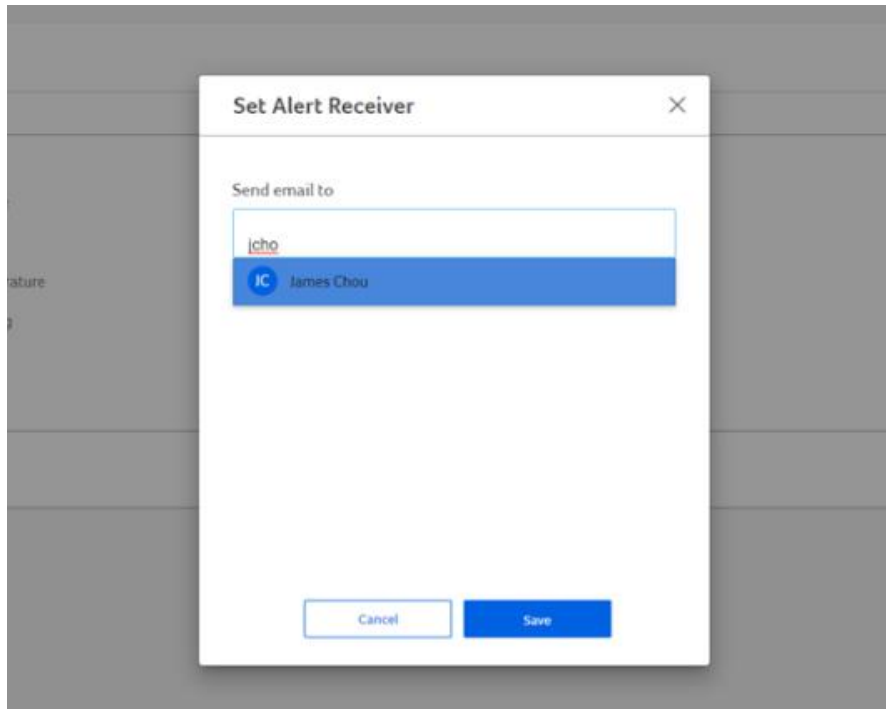
- CPU 使用量 (%)、メモリ使用量 (%)、ディスク使用量 (%)、システム温度 (°F/°C) のように、**しきい値の設定**が必要なアラート項目もあります。

注意


アラートしきい値：アラート通知は、デバイスがしきい値を超過してから 5 分以上経過した時点で送信されます。これは、アラームや電子メールアラートを誤って送信しないようにするためです。たとえば、システム温度が 4 分で正常に戻った場合、アラートメールは送信されません。



- アラート項目の設定が完了すると、「**アラート受信設定**」からアラートの受信者を設定できるようになります。検索バーに有効なユーザー名またはメールアドレスを入力します。システム内のユーザー名から一致する候補がリストアップされます。



- 「**保存**」をクリックして設定を保存します。

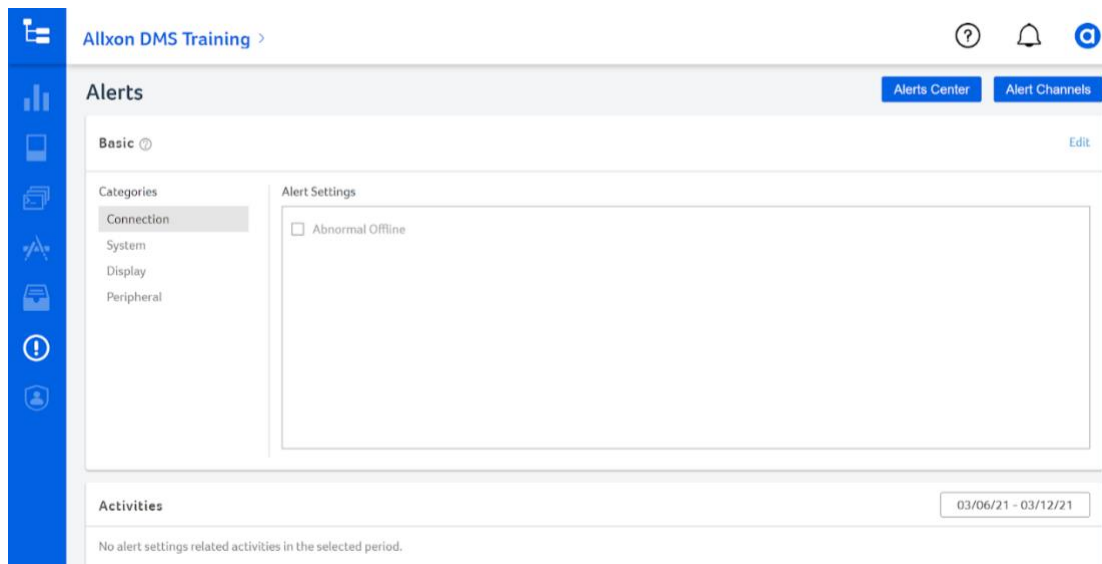
 **注意**

アラート受信者を設定せずに「**保存**」をクリックすると、アラート受信者が設定されていないことを知らせる赤いバナーがトップ画面に表示されます。

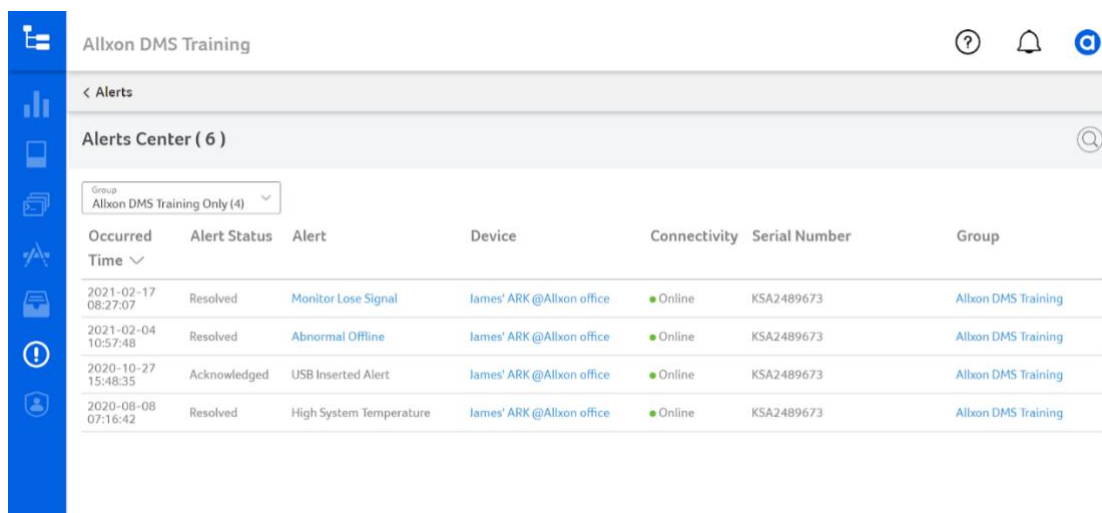
6.7.5 アラートセンター

送信されたアラートはすべて「アラートセンター」に記録されます。これは、デバイスのヘルス状態とパフォーマンスの履歴を常に把握するのに役立ちます。

「アラート」 ページ右上隅の「アラートセンター」をクリックします。



アラートセンターでは、各アラートの概要を確認できます。また、アラート状態（トリガー、既読、解除）により、技術的な問題への対応状況を確認することもできます。



青色のアラート項目は、クリックすると詳細を表示できます。

6.7.6 アラート表

Windows、Linux、Android で利用可能な各種カテゴリとアラート項目を下表に示します。「**V**」はそのプラットフォームで利用可能であることを示し、「**T**」はしきい値の設定が必要であることを示します。しきい値の設定については、「[6.7.4 アラート項目とアラート受信者の設定](#)」を参照してください。

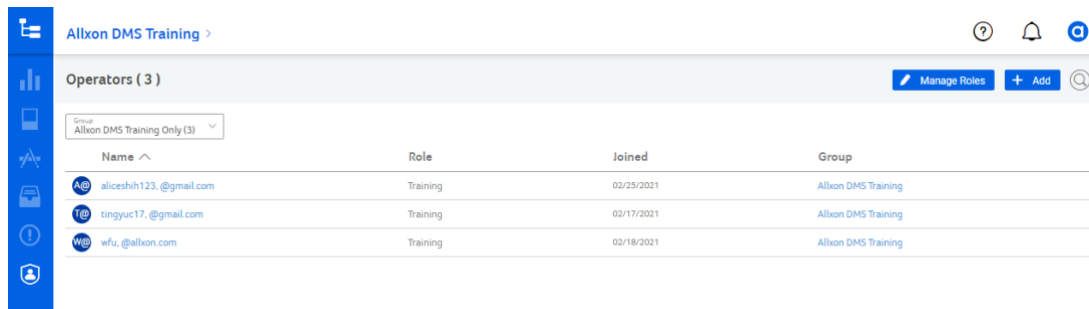
Category	Alert Item	Timing	Windows	Android	Linux
Connection	Abnormal Offline	When the device is shut down abnormally, Agent will send out an alert. For example, the device power is cut off unexpectedly rather than turn off the device normally.	V	V	V
System	High CPU Usage	When the CPU usage higher than the threshold which is defined by the user.	V	V	V
System	High Memory Usage	When the Memory usage higher than the threshold which is defined by the user.	V	V	V
System	Storage Almost Full	When the device local storage usage higher than the threshold which is defined by the user.	V	V	V
System	High System Temperature	When the system temperature higher than the threshold which is defined by the user.	V	V	V
Display	Player Black Screen	When the CMS application "Picturemachine4" plays the black screen on the monitor.	V	V	
Display	Monitor Lose Power	When the monitor lose the power cable.	V	V	V
Display	Monitor Lose Signal	When the devices lose the HDMI cable which is connected with the monitor.	V	V	V
Display	Monitor Off	When the monitor is turned off.		V	
Peripheral	USB Inserted Alert	When there is a USB device inserted into the device.	V	V	V
Peripheral	Unlock USB Password Error	When the users type in the unlock password error over 3 times. This alert depends on the feature "USB Keyboard & Mouse Lock" is enable or not.	V	V	V
Peripheral	Camera Abnormal	When Agent checks device camera failed through the Android system API. Please note, this alert item will be faced out from Portal 2.17, the users can implement it via "Device Plugins" SDK.		V	

6.8 ユーザー

Allxon DMS は、さまざまなレベルの管理上の役割とアクセス権によって組織的な管理体制の維持を支援するシンプルな管理ツールを備えています。

「ユーザー」セクションでは、ユーザーの**追加/削除**、ユーザープロフィールの管理、ユーザー権限の割り当てが行えます。

「ユーザー」ページを開くには、「ユーザー」アイコンをクリックします。



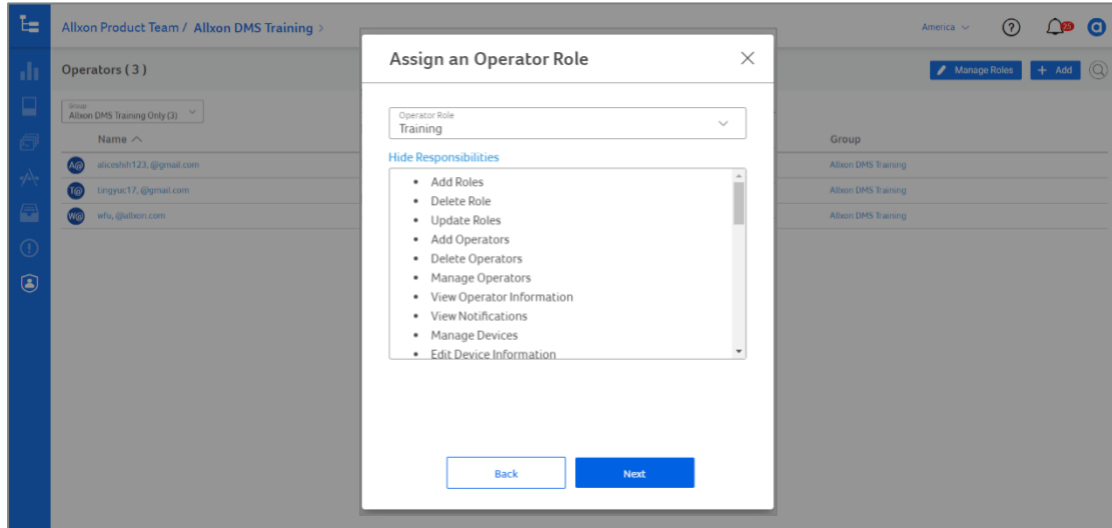
「ユーザー」ページには、ポータルにアクセスできるユーザーのリストが表示されます。

6.8.1 新規ユーザーの追加

アクセス権を持つユーザーは、ポータルにユーザーを追加できます。画面右上隅の「+追加」をクリックします。

「新しいユーザーを追加」画面で、新規ユーザーの**姓、名、メールアドレス**を入力します。「次へ」をクリックし、新規ユーザーを割り当てるグループを**選択**します。グループを選択したら、「次へ」をクリックし、新規ユーザーに役割を割り当てます。

「ユーザーに権限を割り当てる」画面のドロップダウンメニューを使用して、ユーザー権限を選択します。「権限を表示」をクリックすると、役割に割り当てられた権限の詳細を確認できます。「次へ」をクリックします。



新規ユーザーが「ユーザー」ページのリストに表示されます。招待が受け入れられるまで、「開設日付」列には「未開通」状態が表示されます。

Operators (4)			
Name ^	Role	Joined	Group
JC James, Chou	Admin	01/04/2020	allxon
JC James, Chou@OpenApp	End User	03/16/2020	Application Verification
JC Jeff, Chou	End User	01/08/2020	allxon
DI Derek, Jeter	End User	Pending	

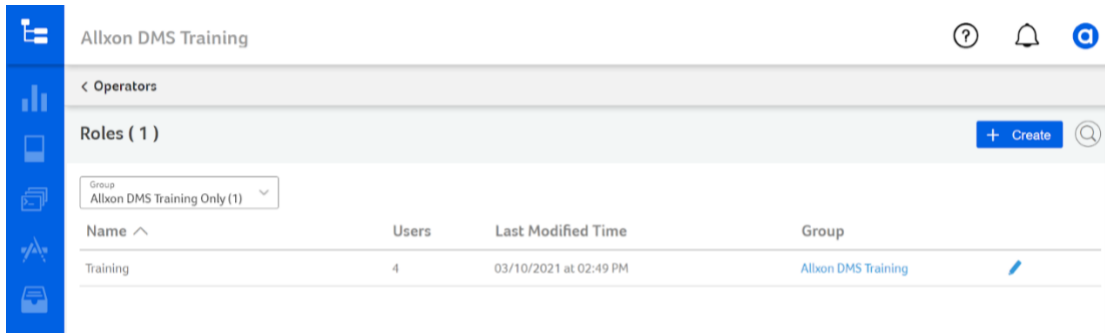
6.8.2 役割の管理

Allxon DMS ポータルでは、さまざまな管理上の役割を作成して、ビジネスに必要なさまざまなレベルの管理が行えます。アクセス権の制限と管理は、ビジネスインフラの保護に役立ちます。

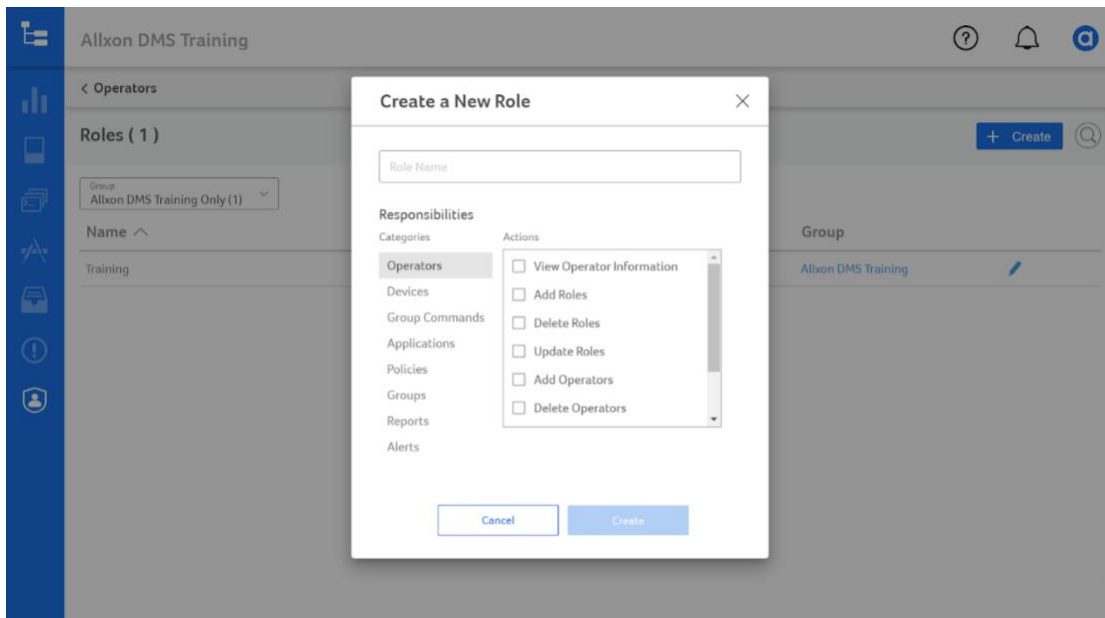
アクセス権を持つユーザーは、「役割の管理」で役割の作成、既存の役割の変更や削除が行えます。

「役割の管理」をクリックして「役割」ページを開きます。

「役割」ページには、作成済みの役割のリストが表示されます。アクセス権を持つユーザーは、「編集」アイコンをクリックして各役割のアクセス権を管理・編集できます。



権限によっては新しい役割の**作成**も可能です。「**新しい役割の作成**」画面で新しい**役割名**を入力し、この役割に割り当てたい**操作**と**権限**を指定し、「**作成**」をクリックします。新規作成した役割が「**役割**」ページの一覧に表示されます。



役割を削除したい場合は、**赤いごみ箱**のアイコンをクリックするだけで役割を削除できます（この操作にはアクセス権が必要です）。

Roles + Create			
Name ^	Users	Group	
Admin	1	alixon	
Device enroll person	0	RetailX	
End User	2	alixon	
End User	1	Application Verification	

6.8.3 ユーザープロフィールページ

「ユーザー」ページのリスト上のユーザー名をクリックすると、「ユーザープロフィール」ページが開きます。このページでは、ユーザーの**基本情報**と最近の**アクティビティ**を確認できます。

Operators (4) Manage Roles + Add			
Name	Role	Joined	Group
Derek, Jeter	End User	Pending	allxon
James, Chou	Admin	01/04/2020	allxon
James, Chou@OpenApp	End User	03/16/2020	Application Verification
Jeff, Chou	End User	01/08/2020	allxon

権限を持つユーザーは、**基本情報** ▶ **アクセス**セクションでユーザーの**グループ**と**役割**を編集できます。

JC

James Chou

Cancel | Save

Basic Information

<p>Account:</p> <p>User ID: James7800243+allxon@gmail.com</p> <p>Joined Time: 01/04/2020 at 03:50 PM</p> <p>Country: Taiwan</p>	<p>Access:</p> <p>Group: allxon</p> <p>Role: <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li style="background-color: #007bff; color: white; padding: 2px;">BDM US <li style="background-color: #007bff; color: white; padding: 2px;">allxon <li style="padding: 2px;">Allxon Training Program <li style="padding: 2px;">AOPEN(acer) <li style="padding: 2px;">B2B </div> </p>
--	---

また、ユーザーを**削除**したい場合は、赤い「**削除**」ボタンをクリックすることで、ポータルからユーザーを完全に削除できます。各操作の後は、忘れずに「**保存**」をクリックしてください。

JC

James Chou

Delete

Basic Information

<p>Account:</p> <p>User ID: James7800243+allxon@gmail.com</p> <p>Joined Time: 01/04/2020 at 03:50 PM</p> <p>Country: Taiwan</p>	<p>Access:</p> <p>Group: allxon</p> <p>Role: Admin Responsibilities</p>
--	--

終わりに

お疲れさまでした。以上でデバイスのペアリングは完了です。後はデバイスの監視と管理を開始するだけです。ぜひ製品のご感想をお聞かせください。最後までご精読いただき、ありがとうございました。

ご質問や不明点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。どのようなことでも大歓迎です。

未永くご愛用いただけましたら幸いです。

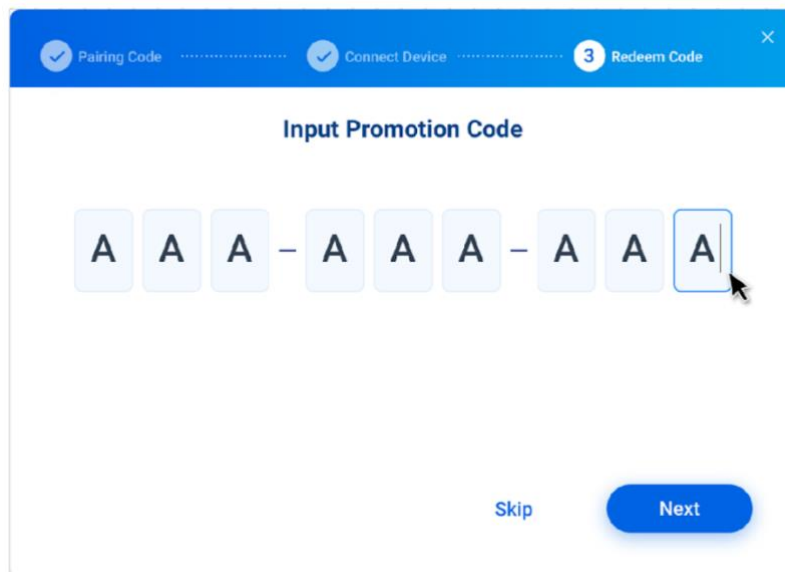
Allxon チーム

付録 A：プロモーションコードの利用

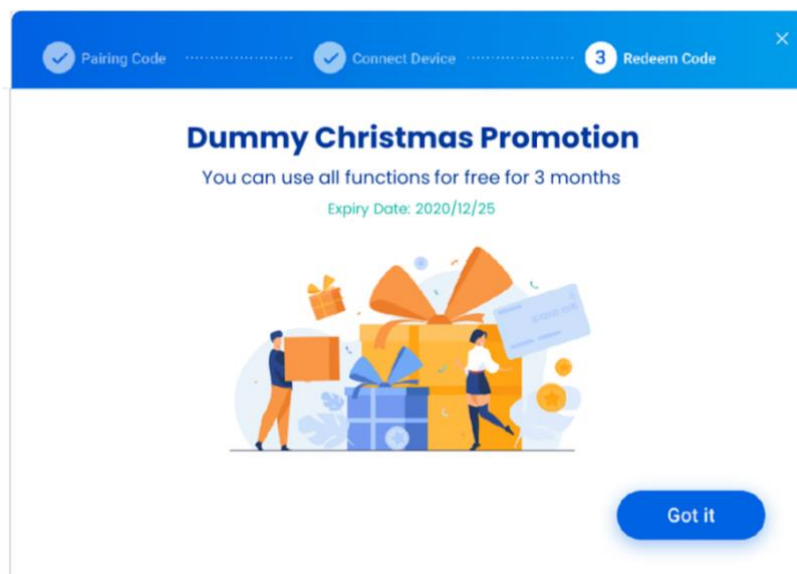
プロモーションコードの利用

Allxon DMS がお客様のビジネス運用管理をいかに改善できるかを存分に体験できるまたとない機会をお見逃しなく。

- 1 特典を受けるには、9桁のプロモーションコードを入力し、「次へ」をクリックします。




- 2 プロモーションコードの有効性が確認されると、利用規約の概要が表示されます。



付録 B : Allxon DMS エージェントのアンインストール

Allxon DMS エージェントのアンインストール

① Allxon DMS エージェントをアンインストールするには、以下のコマンドを入力します。コマンドを実行すると、Allxon DMS エージェントと関連パッケージのアンインストールが自動的に始まります。

 **注意**

コマンドは改行せずに入力してください。

Linux : ターミナルまたは SSH クライアントのアンインストールコマンド

```
sudo bash -c "$(wget -qO - https://get.allxon.net/linux)" -s --uninstall
```

Windows : コマンドプロンプトのアンインストールコマンド (管理者として実行してください)

```
powershell -command "Invoke-WebRequest -OutFile %temp%agent-installer.bat https://get.allxon.net/windows/uninstall.bat" && %temp%agent-installer.bat
```

ライブラリの依存関係リスト

Allxon DMS エージェントのライブラリまたはパッケージの依存関係の一覧を示します。

Ubuntu (x86) 18.04 以降

	パッケージ	説明
1	gcc-multilib	Allxon DMS エージェントのインストール
2	g++-multilib	Allxon DMS エージェントのインストール
3	libssl-dev	サーバー関連の接続
4	libcurl4	サーバー関連の接続
5	gnome-screenshot	スクリーンショット関連の機能
6	lshw	ハードウェア情報の取得 (キーボード、マウスなど)
7	lm-sensors	ハードウェア情報の取得 (システム温度など)
8	dmidecode	ハードウェア情報の取得 (シリアル番号、製品名など)
9	libblkid1	ハードウェア情報の取得 (USB など)
10	x11-xserver-utils	ハードウェア情報の取得 (HDMI 接続状態など)
11	ddccontrol	ハードウェア情報の取得 (HDMI の電源オン/オフ状態など)
12	qrencode	Allxon DMS エージェントの UI ((QR コードなど)
13	libqt5x11extras5-dev	Allxon DMS エージェントの UI 設計 (USB キーボードのロックなど)
14	net-tools	ソフトウェア情報の取得 (ネットワーク状態など)

Ubuntu (ARM, x86) 18.04, 20.04 (例: NVIDIA Jetson シリーズのデバイス)

	パッケージ	説明
1*	gcc-multilib または g++-multilib	Allxon DMS エージェントのインストール
2	libssl1	サーバー関連の接続
3	gnome-screenshot	スクリーンショット関連の機能
4	lshw	ハードウェア情報の取得 (キーボード、マウスなど)
5	libblkid1	ハードウェア情報の取得 (USB など)
6	x11-xserver-utils	ハードウェア情報の取得 (HDMI 接続状態など)
7	net-tools	ソフトウェア情報の取得 (ネットワーク状態など)
8	fonts-roboto	フォント パッケージのインストール

* 「gcc-multilib」と「g++-multilib」はUbuntu 18.04 (ARM) のデフォルトパッケージです。いずれかのパッケージがインストールされていることを確認してください。